

官報

號外

昭和二年五月九日 月曜日

内閣印刷局

第五十三回 衆議院議事速記録第五號

昭和二年五月八日(日曜日)午前十時六分開議

議事日程 第四號

昭和二年五月八日

午前十時開議

第一 國有林野所在府縣市町村ニ對シ交付金下付ニ關スル建議案(八田宗吉君提出)

第二 花巻金石間鐵道速成ニ關スル建議案(廣瀬爲久君外一名提出)

第三 上越南線群馬總社驛西乘降口開設ニ關スル建議案(井本常作君提出)

第四 國民教育改造ニ關スル建議案(荒川五郎君外四名提出)

第五 製絲資金融通ニ關スル建議案(降旗元太郎君外十一名提出)

第六 臺灣銀行不始末調査會設置ニ關スル建議案(武藤山治君外一名提出)

第七 休業銀行ノ整理救済ニ關スル建議案(武藤山治君外一名提出)

第八 (特別報告第一號)金雞動章受勳者優遇ニ關スル請願 (委員長報告)

第九 (特別報告第二號)療兵保護ニ關スル請願 (委員長報告)

第一〇 (特別報告第三號)福山、三次間鐵道速成ノ請願外一件 (委員長報告)

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲ニ掲載ス)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

日本銀行特別融通及損失補償法案ニ對スル修正案

修正案

提出者

武藤 山治君

森田 金藏君

臺灣ノ金融機關ニ對スル資金融通ニ關スル法律案ニ對スル修正案

提出者

武藤 山治君

森田 金藏君

日本銀行特別融通及損失補償法案ニ對スル修正案

提出者

武藤 山治君

湯淺 凡平君

製絲資金融通ニ關スル建議案

提出者

降旗元太郎君

下元鹿之助君

栗山 博君

加藤 鯛一君

柏田 忠一君

傳田 清作君

奥村 千藏君

星 康平君

戸田 由美君

中野 寅吉君

深井 功君

蟻川五郎作君

休業銀行ノ整理救済ニ關スル建議案

提出者

武藤 山治君

田中 讓君

(以上五月七日提出)

一昨七日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

一八

淺賀長兵衛君

二五

三浦 數平君

四〇

島本 信二君

四一

加藤 謙五郎君

四四

吉田 眞策君

四八

河上 哲太君

四六

清水市太郎君

一六〇

齋藤藤四郎君

一七三

大石 大君

一昨七日日本銀行特別融通及損失補償法案外一件委員高島順作君辭任ニ付其ノ補關トシテ原夫次郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

○議長(森田茂君) 是ヨリ會議ヲ開キマス

○井本常作君 暫時休憩セラレシコトヲ望ミマス

○議長(森田茂君) 井本君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○議長(森田茂君) 御異議ナシト認メマス

○議長(森田茂君) 暫時休憩致シマス

午前十一時七分休憩

午前十一時五十三分開議

○議長(森田茂君) 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス

○井本常作君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、此際昭和二年勅令第九十六號、承諾ヲ求ムル件ヲ議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メラレシコトヲ望ミマス

○議長(森田茂君) 井本君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○議長(森田茂君) 御異議ナシト認メマス

○議長(森田茂君) 御異議ナシト認メマス

○議長(森田茂君) 御異議ナシト認メマス

○議長(森田茂君) 御異議ナシト認メマス

○議長(森田茂君) 御異議ナシト認メマス

○議長(森田茂君) 御異議ナシト認メマス

○議長(森田茂君) 御異議ナシト認メマス

○議長(森田茂君) 御異議ナシト認メマス

○議長(森田茂君) 御異議ナシト認メマス

○議長(森田茂君) 御異議ナシト認メマス

○議長(森田茂君) 御異議ナシト認メマス

○議長(森田茂君) 御異議ナシト認メマス

○議長(森田茂君) 御異議ナシト認メマス

○議長(森田茂君) 御異議ナシト認メマス

昭和二年五月八日

委員長 田中 隆三

衆議院議長森田茂殿

(田中隆三君登壇)

○田中隆三君 昭和二年勅令第九十六號、承諾ヲ求ムル件ニ付キマシテ、委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ニ付キマシテハ、昨日來先刻マデ委員諸君ノ非常ナル勉勵ノ下ニ、種々ノ質問應答ヲ重ネマシタガ、此法案ハ御承知ノ通り、政府ノ參考書ニ依ッテ見マシテモ、或ハ支拂延期令ト云ヒ、或ハ支拂猶豫令ト云ヒ、右前ハハキリ附イテ居リマセヌ、或ハ又外國ノ言葉ヲ其儘取ッテ「モラトリユーム」ト云フヤウナコトヲ申シテ居ルヤウデアリマスガ、兎モ角モ我國ニ於テハ大震災ノ際ニ一度行タコトノアル法案デ、此度ハ二度目ノ法律案デアリマス、而シテモウ十分御承諾ノ通り、其影響スル所頗ル重大ナルモノデアリマスルガ故ニ、委員會ニ於キマシテハ特ニ慎重ニ審議致シマシタノデアリマス、其經過等ヲ是ヨリ御報告申上ゲマスガ、只今マデ其會ガ繼續シテ居リマシタノデゴザイマシテ、順序ヲ立テ、御話ヲ申上ゲルコトハ甚ダ困難デアリマス、或ハ混雜粗漏ニ涉ルヤウナ事ガナイトモ申セマセヌカラ、其點ハ惡カラズ御有恕ヲ願フテ置キマス、先ツ第一、此法律案ハ憲法上ノ根據ニ基イテ制定セラレタルモノデアアルコト云フコトニ付キマシテノ質問應答ガ始マリマシタ、政府ハ此法案ニモゴザイマス通り、憲法第八條ニ依ッテ之ヲ交付シタモノデアアル、是ハ明瞭ナコトデゴザイマセウ、所ガ其憲法第八條ニハ御承知ノ通り「天皇ハ公共ノ安全ヲ保持シ又ハ其ノ災厄ヲ避クル爲緊要ノ必要ニ由リ帝國議會開會ノ場合ニ於テ法律ニ代ラヘキ勅令ヲ發ス」トアル、之ニ基イテ此法案ハ公布セラレタルモノデアアル、斯ウ云フ

御答辯デアリマスガ、恰モ憲法第七十條ニ「公共ノ安全ヲ保持スル爲メ緊急ノ需用アル場合ニ於テ内外ノ情形ニ因リ政府ハ帝國議會ヲ召集スルコト能ハサルトキハ勅令ニ依リ財政上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得」ト云フ又一箇條ガ別ニアルノデアリマス、而モ此法案ノ以前ニ、前内閣時代ニ於テ——若槻内閣ニ於テ臺灣銀行ノ救済ニ關スル緊急勅令案ヲ出サウトシテ、樞密院ニ御諮詢ニシタト云フコトハ、諸君御承知ノ通りデアリマス、其法案ニ付キマシテ時ノ政友會、即チ現内閣諸公ハ、其緊急勅令案ニ御反對ノ御意見ノアツタコトハ、天下公知ノ事實デアリノデアリマス、其勅令案ノ時ニハ反對ナサレテ、サウシテ自ラ内閣ヲ取ルヤ否ヤ——内閣ヲ組織セラル、ヤ否ヤ、又此勅令案ヲ御出シニシタコトハ、前後矛盾ノ疑ガナシカト云フヤウナ點ニ付テ、疑念ヲ懷カレテ居ル方ガアルノデアリマス、其意味合ニ於テ向ホ此質問ガ、所謂此憲法上ノ根據ト云フコトニ付テ、色々ノ質問應答ヲ重ナラシメタ、之ニ對スル政府ノ御答辯ニ依リマシレバ、若槻内閣ノ時ノ緊急勅令ハ、憲法第七十條ニ依リタモノデアアル、而モ七十條ニハ即チ「内外ノ情形ニ因リ政府ハ帝國議會ヲ召集スルコト能ハサルトキハ」云々トアル、當時ノ政友會ノ諸君ハ、即チ此條件ニ當嵌ラヌモノト認メテ、之ニ反對セラレタト云フ趣意ニ歸著スルヤウデアリマス、而シテ此度ノ此勅令第九十六號ノ方ハ、憲法第八條ニ依リタモノデアアル、ハ只今讀上ダマシタ通り唯、「帝國議會開會ノ場合ニ於テ」云々トアルダケデ「内外ノ情形ニ因リ帝國議會ヲ召集シ能ハサルトキ」云々ト云フヤウナ文句ハゴザイマセヌ、此區別ヲ根據トシテ、第七十條ノ方ハ餘程狹ク解釋ヲシナケレバナラヌモノデアアル、反面カラ申シマスルト、第八條ノ方ハ七十條ヨリハ廣クシテ、即チ召集スルコト能ハザルトキト云フコトニ當嵌ラヌデモ、憲法第八條ニ依リタモノ如キ勅令ヲ出スト云フコトハ、憲法ニ依リタモノヘラレタル權能デアアル、斯ウ云フ意味デアアルヤウデアリマス、質問者ハ

更ニ進シテ、第七十條ニアル所ノ召集シ能ハザルトキト云フコトハ、戰亂ニ際シテ事實ニ於テ議會ヲ召集スルコトガ出来ナイト云フ時トカ、或ハ解散中ニ屬シテ、議會ノ存立シテ居ナイ時トカ云フヤウナ絕對ニ無イ場合ノミナラズ、例ヘバ此度ノ如ク財界ノ混亂ニ陥ル惧ガアリ、一日ヲ忽ウスベカラザルト云フ情勢ニ迫ラタ時ニハ、矢張七十條ニ依リテ、所謂内外ノ情形ニ因リ帝國議會ヲ召集スルコト能ハザルト云フコトニ認メテ、矢張緊急勅令案ヲ出スコトガ出来ルト認メルカドウカト云フコトニ質問者及ンデ行キマシタ、ソレニ付キマシテハ、政府ハ的確ナル答辯ヲ與ヘマセヌ、唯、先刻申上ダマシタ通り、唯、七十條ハ狹イ、八條ハ廣イ、廣狹ノ解釋ヲ繰返サル、ノミデ、其質問者ノ言フガ如ク、内外ノ情勢ガ迫ラテ、一日ヲ緩ウスレバ國民ニ多大ノ損害ヲ與ヘルト云フヤウナ緊急ノ場合ガ、所謂議會ヲ召集スルコト能ハザルト云フ場合ニ當ルヤ否ヤト云フコトハ、適切ナ御答辯ガナクシテ、其應答ガ終了致シマシタ、此點ハ甚ダ遺憾ニ存ジマス、政府ハ此財界ノ混亂ニ際シテ、應急ノ處理トシテ此法案ヲ提出セラレ、即チ此支拂ヲ二十一日間ニ亘リ停止スルト云フ、之ヲ一ツノ應急策トシ、サウシテ他ノ一面ニ於テハ、善後策トシテ同時ニ御提出ニシタ居リマス、所ノ日本銀行ニ關スル法案、又臺灣銀行ニ關スル法案、此兩法案ト此支拂猶豫令ト相俟テ、サウシテ此度ノ時局ヲ匡正セントシテ、此度ノ帝國議會ヲ召集セラレマシタ事ハ、諸君御承知ノ通りデアリマス、次ニ此立法ヲ必要トスル法理上ノ根據ト云フ御言葉ガアリマシタガ、質問者カラシテ、ドウ云フ譯デスノ如キ、非常ニ財產權ノ中ニモ最モ適用モ廣ク、利害關係ノ重大ナル此法案ヲ出サナケレバナラヌノデアアルカ、之ヲ出サナケレバナラヌ、出スト云フ根據ハ何處ニアルカ、尙ホ言葉ヲ更メテ言ヘバ、例ヘバ預金者ガ其預金ノ拂戻ヲ求メルト云フコトハ、立派ナ法律上ノ權利デアアル、ソレヲ要求スルコトヲ差止メル、俗ニ或ハ取付騒ギヲ防止スルノ案デ

アルト云フコトヲ言フガ、取付騒ギト云フ事ハドウ云フ事カト云フト、多數ノ者ガ銀行等ニ其拂戻ヲ要求シテ行クヤウナ場合ヲ云ウテ居ルノデアアルカ、一體ソレガ何故惡イノカ、ドウ云フ譯デサウ云フ事ヲ、斯ノ如キ非常立法ヲ以テ防ガナケレバナラヌノデアアルカ、政府ノ見ル所ヲ聞キタイ、三人五人要求シテ行クノハ宜シイケレドモ、十人百人ト要求シテ行クノハイカヌト云フノデアアルカ、尙ホ或ハ之ヲ法律的二云ヘバ、權利ノ濫用、多額ノ預金ヲ持テ、取出サマデモ宜イヤウナ者マデモ、斯ウ云フ場合ニ要求シテ、サウシテ少額ノ預金者等ハソレガ爲ニ非常ニ迷惑ヲ受ルルト云フコトヲモ顯ミズ、所謂權利ヲ濫用スルト云フヤウナ者ガ集テ來ルト云フコトヲ防ガントシテ、斯ウ云フ法案ヲ出シタモノデアアラウカ、ドウ云フノデアアラウカ、此法案ヲ出サナケレバナラヌト云フ適切ナ法理上ノ根據ヲ聞キタイト云フヤウナ御質問ガ一ツ出マシタ、ソレニ對シテ政府ハドウモ權利ノ濫用ト云フヤウナ、何カ哲學的ト云フ御言葉ガゴザイマシタ、哲學的意味ヲ以テ攻究シタノデハナイ、唯、憲法第八條ニ依リ公共ノ安全ヲ保持スル爲ニ必要ナルガ故ニ此法案ヲ出シタ、斯ウ云フ事ヨリ外ニ御答ノ仕様がナイト云フコトデ、質問者ノ得ントスル答ヲ矢張得ラレナカッタヤウナ感ジヲ委員長ハ致シマシタ、其次ニ此法律案ノ内容ニ付テ色々質問應答ヲ重ナラシメタ、先ヅ第一ニ、是デハ二十一日間此非常立法ノ效力ヲ及ボサセテアル、此二十一日ト云フコトハ長キニ失シハシナイカ、兎モ角モ此「モラトリユーム」ト云フモノヲ實行セラレタ結果ハ、全國ノ商工業者ニ取テ容易ナラザル影響ヲ及ボスベキコトハ明瞭デアアル、現ニ此度ノ此法律ノ結果モ、或ル有力ナル人ノ說ニ依レバ、少クトモ二十億圓ノ損害ヲ我が商工業者ニ與ヘタト云フヤウナ說モアル、其金高ハ兎モ角トシテ、兎モ角モ商工業者其各般ニ涉リテ容易ナラザル影響ヲ及ボシタト云フコトハ事實デアリ、又其及ボスベキモノデアアルト云フコトハ、豫見シ得ベキ

コトデアアル、然ラバ是ハ已ムヲ得ザルモノトシテモ、出來得ル限リ短期間ニ限ルコトハ必要デナイカ、所謂大震災ノ如キ、非常ナ大事件ノ時デアッテモ、其期間ガ僅ニ三十日デアッタノデヤナイカ、此度ノヤウナ場合ニ於テ、之ヲ二十一日間トシタト云フコトハ、ドウ考ヘテモ長イヤウニ思フガドウカ、其點ニ對シマシテ、政府ノ答フル所ハ、此議會ヲ召集スル、此處ニ議員ノ御集リヲ願フ期間ト、又會期ヲ御承知ノ通り、五日間ナラ五日間ト致シマスニシテモ、其所デモウ十七、八日ハ掛ル、召集令ヲ發シテ召集日迄ノ期間ガ十二日ト云フノガ、從來ノ例ニ依リテ一番短イ期間デアアルサウデアリマス、其十二日ノ會期ヲ加ヘ、尙ホ又此議會ノ承認ヲ得テ後、善後法案即チ此日本銀行ナリ、臺灣銀行ナリニ關スル諸法案等ノ御協賛ヲ經テ、サウシテ之ヲ實施スルニ付テハ、ソレトテ準備行為ガ要ル、其準備行為ノ爲ニ三、四日間ヲ置イテモ、既ニ二十一日ト云フ期限ニナル譯デアアル、ドウシテモ是ヨリ短クシテ此法案ノ始末ヲ付ケ、又善後處置ニ著手スルト云フコトハ出來ナイガ故ニ、此二十一日ト云フ期限ガ生レタモノデアアルト云フ御説明デアリマス、更ニ之ヲ全國的ニシタノハドウカ、前ノ時ニモ——尤モ地震ハ場所モ限ラレテ居ッタ譯デアリマセウケレドモ、一部分ニ限リテアル、全國ニモ平穩ニシテ、斯ノ如キ非常立法ヲ要サナイ所ガ澤山アルニモ拘ラズ、斯ノ如ク全國ニ一般的ニ此法ヲ實施スルト云フコトハドウ云フ譯カ、斯ウ云フ質問ガ出マシタ、ソレニ對シテ、政府ハ、法律ヲ發布スル其瞬間ノ事情ヲ云ヘバ、御質問ノ如キ狀況ノアツタコトハ、政府モ之ヲ認メル、併ナガラ或ル部分ニ此法ヲ實施シテ、或ル部分ニハ其適用ガナイト云フコトニナリマス云フコト、其適用ノナイ部分ニ向テ、色々ノ金銀等ノ需要ヲ滿サントシテ、其場所ニ又取付騒ギヲ惹起スヤウナ虞ガアル、折角平穩ナ所モ、一部分ニ布イタガ爲ニ却テ波瀾ヲ捲起ス等ノ虞モアリマス、之ヲ全國ニ及ボシタモノデアアル、殊ニ又其他ノ事モゴザ

イマスルガ、此法案ハ前刻申上デマシタ通り、我國ニ於テ今度ハ二度目デアル、新シイ試ミデ——試ミト言フチヤ惡イカ知レマセヌガ、兎ニ角モマダ餘リ度々ナイコトデ、アツテハ困リマスガ、兎ニ角モ二度目デアハ、ソレデ此度ハ大體ハ前ノ法案ノ通りニシタノデ、其他ヲ除イテハ、此二十一日トカ或ハ此場所ト云フコトニ付キマシテハ、前ノ法案トハ違ヒマスガ、此商ノ法案ニ、總テ形式ヲ採タモノデアルト云フコトハ、此他ノ事項ニ付テノ説明ニモ必要デアリマスルカラ、其點ハ豫メ申上デテ置キマス、ソレカラ其次ニ、ドウモ此法案ガ、如何ニモ商工業ノ實際ヲ顧ミナイ、洵ニ不都合ナ簡條ガ段々アル、ソレハ例ヘテ申シマスレバ、此勞銀ノ支拂、勞銀ヲ支拂フ場合ニハ、此法律ヲ實施シナイ、即チ勞働者ヲ使テ居ル人ハ、其勞銀ヲ矢張支拂ハナケレバナラヌ譯デアアル、然ルニソレ等ノ準備トシテ、此勞銀ノ支拂等ニ要スル金ハ、銀行等デハ此法律ノ直接ノ適用ヲ受ケマセヌデ、サウ云フ必要ナ資金ハ支出シナケレバナラヌコトニハナツテ居リマスケレドモ、實際ノ商工業者トシテハ、自分ノ入用ナ金ヲ銀行ニ積ンデ置イテ、サウシテ仕事ニ從事シテ居ルト云フ者ナドハ、減多ニアルモノデハナイ、商業者ニ於テ云ヘバ、拵ヘタ商品ヲ賣テ、其代金ヲ得テ、サウシテ勞働者ノ賃銀ヲ支拂フト云フノガ實況デアアル、然ルニ此法律ノ適用カラ云フト、賣タ商品ノ方ノ金ハ取レナイ、サウシテ職工勞働者ニ拂フ賃銀ハ拂ハナケレバナラヌノデアアル、サウ云フ實行ノ出来ナイヤウナ、實際ノ商工業ニ適シナイヤウナ法律案ハ、不都合デハナイカト云フヤウナ御質疑ガゴザイマシタ、ソレニ付キマシテ政府ハ、如何ニモ御尤ナル御質問デアアル、純理論カラ云ヘバ其ノ通り御答スルヨリ仕方ガナイ、併ナガラ法律ヲ作りマシタ時ノ趣旨ハ、所謂勞働者ヲ使テ居ルヤウナ人ハ、先ツ資力ニ於テ格カナ者ト見ナケレバナラヌノデ、サウ云フ不都合ガナイモノト云フ前提ガ一つト、今一ツハ只今申上デマシタヤウニ、兎

ニ角モ非常立法ノコトデモアリ、前回ニ公布セラレタ所ノ「モラトリウム」ノ法案ト、即チ大正十二年ニ出シマシタ所ノ法案ト、總テ同ジヤウニト云フコトニ因ハレテ——成程サウ言ハレテ對照シテ見マスルト云フト、一字一句殆ド變リガナイヤウナ風ニ出来テ居リマス、其事ガ善イカ惡イカハ別ト致シマシテ、サウ云フヤウナ事情ノ下ニ是ガ出来タノデ、又所謂非常立法、非常ノ場合デアアルカラ純理論ニ合ハナイコトモ、仕方ガナカラウト云フ意味合デ以テ、斯ウ云フ法律案ニナツタ云フ御説明デゴザイマシタ、ソレカラ更ニ随分細カイ事ノヤウデアリマスガ、重大ナ事ト思ヒマスルカラ此事項ダケヲ申上デテ置キマスガ、此法案ノ效力トシテ、或ハ利息付債券トカ、手形債券等ノ遅延利息ノ計算ハドウナルカ、遅延利息ト云フモノハ、斯ウ云フ場合ニ權利ガアルカナイカト云フヤウナ事ヤ、或ハ權利保全ノ行爲ハ、此期間ノ時ニシナケレバナラヌカ、或ハ此法律ノ結果所謂二十一日ノ猶豫ヲ置イテ、其延ビタ期間内ニ於テ、保全行爲ヲシテ善イカ惡イカト云フヤウナ事、或ハ此四月二十一日以前ニ辨濟期限ノ到著シタモノモ、矢張此效力ヲ受ケル、此恩典ニ與カルコトヲ得ルヤ否ヤト云フヤウナ事、又此法律ニ依ル支拂延期ト云フコトハ、辨濟期日ノ變更デアアルカ、或ハ抗辯權ノ設定デアアルカト云フ事ニ付テ、詳細ナ御質疑ガゴザイマシタ、是等ニ付テ司法當局ノ見所ノ御答辯ガゴザイマシタケレドモ、是等ノ事ハ速記録ニ就テ御承知ヲ願フコトニ致シマシテ、私ハ御報告ヲ申上デマセヌ、ソレカラ次ニ此勅令第九十六號、此效力ノ期限ハ僅カ數日ノ後ニ迫リテ居ル、此期日滿期ノ後ニ財界ノ安定ハ達シ得ラレモト當局ハ認メルヤ否ヤ、若モ達シ得ラレナカッタ時ニハドウスル積リデアアルカト云フヤウナ御質問ガゴザイマシタ、ソレニ付キマシテ、政府當局ノ見所ヲ以テスレバ、先以テ財界ノ安定スベキモノト認メル、殊ニ此法律ノ效力ヲ失フト共

ニ代テ補償法案等ガ——最モ此財界ヲ救済スルニ至ル所ノ補償法案等ガ出ルノデアリマスカラシテ、ソレト是トノ效力ガ相俟テ十分ニ財界ノ安定ノ目的ヲ達シ得ラレモノト認メル、併ナガラ萬々一ニモ事豫期ニ違フヤウナコトガアレバ、ソレニ對シテ相當處置ヲ執ルノ外ハナイ、斯ウ云フ御答辯デゴザイマシタ、ソレカラ最後ニ——ソレカラモウツ重要ナルコトデアリマスカラシテ、御報告申上デマスガ、此日銀ノ貸出高ト云フモノガ、傳フル所ニ依レバ數十億圓ニモ及シタ、非常ニ澤山ノ高デアルト云フコトデアアル、ソレヲ聽イテ世間デハ取付懸ノ頗ル重大デアツタカノ如ク考ヘルケレドモ、他ノ一面カラ見レバ、實際取付ケラレタ所ノ高ハ左程大キナカタラウ、此事ヲ聞キタイ、サウスルト或ハ却テ財界ノ混亂ト云フコトハ、所謂疑懼ノ念ヲ持テ居ルモノヲ安心セシムル道デアラウカラシテ、日銀ノ貸出高ヲ——又實際ニ預金ノ支拂等ニ充當シタ所ノ金額ヲ聞キタイト云フ御質疑ガゴザイマシタケレドモ、政府當局ニ於テハ、此經濟社會ニ於テ神經殊ニ過敏ニナツテ居ル時、斯ル數字ノ説明ヲスルコトハ面白カラヌコト、思フカラシテ、是ハ差控ヘタイト云フコトデ御答辯ガゴザイマセヌデシタ、最後ニ此重要ナル、所謂先刻來申上デマシタ如ク、見ル人ニ依テハ四十億ノ損害ヲモ此數日間ニ惹起シタト云フヤウナ、兎ニ角モ重大ナル影響アル法案デアアル、又此法案ハ恐ロシキ影響、重大ナル影響ヲ及ボスベキモノト思フノガ當然デ、何ニモ影響ノキナイヤウナモノデアアルナラバ、コンナ非常立法ヲ制定スル必要モ何モナイ、兎ニ角モ初カラ此勅令ノ發布後ニ於テ、商工業ニ對スル容易ナラザル影響ガアルト云フコトハ、分リ切タコトデアアル、果シテ然ラバ、此法案ヲ出スニ付テハ、豫メソレニ對スル——影響ヲ受クベキ商工業ニ對スル對策ヲ政府ハ考究シテ居リサウナモノダ、其對策ヲ聞キタイ、斯ウ云フ論ガ出マシタ、尤モ其論ノ出ル前提トシテ、影響ガ重大デアアルカ否ヤト云フコトニ

付テノ繰返シタ質問ガゴザイマシタ、ト云フノハ先日當議場ニ於テ商工大臣ノ御答辯ニハ、非常ナ重大ナル影響ヲ及ボシタモノト認メラレナイヤウナ意味ニ聽取ラレタ御答ガアツタサウデアリマス、私ハ其際ハ當議場ニ居リマセヌノデ、伺ヒマセヌデシタガ、質問者ノ聽取ル所ニ依レバ、格別ナル——重大ナル影響ガナカッタカノ如ク聞エタ御答辯ガ、商工大臣カラアツタサウデス、本日ハ又商務局長ガ政府委員トシテ御出席ニナラレマシテ御説明中ニ、餘リ影響ノ重大ナラザル商工業ノコトニ付テノズツト御話ガアツタデアリマス、其前ノ議場ノ御答辯ト、今日ノ商務局長ノ御話トヲ對照シマスト云フト、如何ニモ影響ガ少ナカタヤウニ聞エタ爲ニ、其點ニ付テ向ホ念ヲ八レテ御尋ヲシタ結果、當局責任有ル商工大臣ハサウデハナクテ、此法案實施ノ結果商工業其他各般ノコトニ互フテ、非常ナ重大ナル影響ヲ及ボシタト云フ事實ハ認メルト云フコトデゴザイマシタ、ソレヲ認メマシタナラバ、然ラバ只今謂フ所ノ其善後策ハ、所謂豫期セラレタ結果デアツテ、斯ク有ルベキコトデアアルノニ、ソレニ對スル方策ノ用意ガアツタカドウカト云フ御質問ニナリマシタ所ガ、商工大臣ノ御答ニ、兎ニ角モ此商工業者ノ困ルト云フコトハ、要スルニ金融ニ主トシテ關係シテ居ルノデアアルカラシテ、或ハ日銀、或ハ正金等ノ銀行等ニモ連絡ヲ取テ、所謂商工業者ノ融通ノ上ニ色々御心配ニナツテ居ル點モアル、無論又他ノ一面ニハ、御承知ノ通り此補償法案等が出テ居リマシテ、是ト相俟テ商工業者等ノ安定ヲ圖ル積リデアアル、斯ウ云フ御答デアリマシタケレドモ、質問者ノ御趣旨ハ、此金融關係ヤ何カハ、大藏省ニ於テ大藏當局ノ所謂用意シタ對策デアアラウ、金ヲ積ンデ預金ノ支拂ノ要求者ニ支拂フト云フノハ、ソレハ大藏省ノ方ノ對策デアアラウ、商工業者ノ方ノ對策ハ如何、斯ウ云フヤウナ御問デアリマシタ、ソレニ對シテハ、政府ハドウモ事急ナ場合ニ此法案ヲ出サナケレバナラヌコトニナツタデアツテ、其效力結果ガ

的確ニドウナルト云フコトハドウモ分ラナイ、即チ或ハ銀行ノ動搖ヲ見、又其變化ヲ見テ、サウシテ各ノ變化動搖ニ對スル對策ヲ講ズルヨリ外ハナイ、斯ウ云フヤウナコトデ、詰リ見方ニ依リ言方ニ依テハ、始メカラ對策ト云フモノヲ心配シテ居テ、此法案ヲ出シタルト云フ風ニハ言ハナイヤウニ聽取ラレタ、ケレドモ政府ノ御考ハサウデナクシテ、或ハ明瞭ニ話ハ出來ヌケレドモ、種々ナル對策ノ御持合アルト云フ意味カモ知レマセヌ、此點ハ委員長ハハッキリ諒解ハ致シ兼ネタノデアリマス、大要右申上タルヤウナ次第デアリマスガ、尙ホ其足ラザル所ハ御質疑デモゴザイマスレバ、御答申上ダマス、デ右様ナ質疑應答ヲ經テ討論ニ入りマス、本案ハ承諾ヲ與フベキモノデアルト云フコトニ付キマシテハ、多數ヲ以テ可決致シタルデアリマス、アリマスガ唯、此際御報告致シテ置カナケレバナラヌ重大ナル一箇條ガゴザイマス、ソレデス、國民ニ重大ナル影響ヲ及ボスベキモノト云フコトノ分リ切タコト、又現ニ當局大臣ノ御話ニ依テモ其豫期——洵ニ惡イ豫期デアリマス、其豫見シテ居タル所ノ影響ヲ現ニ及ボシタル云フコトノ爭ノナイ重大ナル法案、斯ノ如キ法案ヲ提出スルニ至ラ、一體責任ハ何處ニ在ルカト云フコトハ、質問應答ノ間ニ(拍手)其鋒銳ヲ現ハシタルデアリマス、サウシテソレニ對スル見方ガ兩様ニ分レテ居タルデアリマス、一ツハ是ハ全ク其時ノ政友會、只今ノ内閣、現内閣ガ若槻内閣ノ臺灣銀行救済案ニ對スル勅令案、其公布ニ付テ反對ヲシタル云フコトガ、斯ル事態ヲ惹起シタル原因デアアル(拍手)ソレハ質問デアリマシテ議論デアリマス、私ノ意見デハゴザイマセヌケレドモ、御報告トシテ必要ナルコト、存ジマス、ドウシテモ其時ニアノ勅令案ガ通過シテ居レバ僅カニ億圓デ濟ンダ、然レニ拘ラズ今日ハ二億ノ上ニ更ニ五億ヲ加ヘテ七億圓ノ負擔ヲ國民ニ負ハセナケレバナラヌヤウナ重大ナル責任ヲ惹起シ、尙ホ更ニ此法案ノ結果、先刻來御説明申上ダタヤウニ、

人ニ依テハ數十億ノ損害ヲモ商工業者其他ニ與ヘタト云フ事態ハ、全ク責任其所ニ在リト云フヤウナ意味ヲ以テ、色々ノ質疑モアリ、御議論ノアツタ方モアリマス、又ソレト反對ニ、本日ハ丁度近藤君カラ初メテ出タルデアリマス、簡單デアリマシタカラ詳細御説明申上タル譯ニ行キマセヌガ、近藤君ノ御見方ニ依レバ、此法案ヲ出スニ至ラノ前内閣ノ責任デアアル、斯ウ云フ御話デアリマシタ、併シ其内閣ノ責任デアルト云フ理由ノ説明ガナカク、デアリマス、委員長ハ之ヲ御報告申上タル譯ニ行キマセヌ、之ヲ以テ御報告ト致シマス(拍手)

○議長(森田茂君) 是ヨリ討論ニ入りマス、通告順ニ依テ發言ヲ許シマス、工藤鐵男君

〔工藤鐵男君登壇〕
○工藤鐵男君 本案ハ我が憲法上極メテ重大ナル意義ヲ伏シテ居ル重要法案デアリマス、私ハ本案ニ對シ賛成ノ意ヲ表シマス、其理由ヲ明ニシテ賛成ヲ表シタイ一人デアリマス、御承知ノ通り、本案ハ政府ガ責任ヲ以テ、非常立法行爲ヲ行ヒマシタル其責任ノ解除ヲ求ムル所ノ案デアリマス、既ニ責任ノ解除ヲ求ムル所ノ案デアリマス、如何ナル責任ヲ現内閣ガ有シテ居ルカト云フコトヲ究ムルモノ、本案ニ對シ賛否ヲ決スル重要ナル分歧點ナリト信ジテ居ルデアリマス、故ニ本案ニ賛成ヲ致シ、或ハ反對致シマス、ニ付キマシテモ、其原因ガ明ニナラザレバ、容易ニ最後ノ斷案ヲ下シ能ハザルコトハ明瞭デアリマス、私ハ本案ニハ賛成致シマス、故ニ本案ヲ提出スルニ至ラノ原因ハ、少クモ政友會内閣及樞密院其責任アリト言ハザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)其原因ハ既ニ政友會モ負ハナケレバナラヌ所ノ數々ハ、本日マデ本議場若クハ委員會、並ニ院外ニ於テ現レタル所ノ幾多ノ現象ニ依テ、明々白々火ヲ賭ルヨリモ明カデアリマス、又本院ノ意思ト致シマシテハ、昨日大多數ヲ以テ通過致シマシタル、樞密院ニ對シ不當ナリト

スル決議其モノニ依テモ、既ニ明白デアアルト云フコトヲ立證シテ居ルノデアリマス、吾々ノ尊敬致シテ居リマス阪谷男爵ノ調査致シマシタル所ニ依リマスレバ、前内閣ハ樞密院ニ對シテ、二億圓ノ補償救済金ヲ以テ、財界ノ混亂ヲ未然ニ防ガントシタ其案ガ、種々ナル原因ニ依テ遂ニ不成立ニ終タル其結果ハ、直接間接ニ國民ニ對シ二十億ノ負擔ヲ強ヒナケレバナラヌト云フコトヲ明ニ聲明シテ居ルノデアリマス、諸君、此「モラトリウム」ヲ布クニ至ラザル責任ハ、少クモ政友會即チ現内閣ガ負フベキモノデアルト致シマシタナラバ、二十億ノ損害、最小限度ニ於テ二十億ノ損害ヲ國民ニ強ヒ、更ニ七億圓ノ補償救済金ヲ出サナケレバナラヌト云フ此大責任ハ、正ニ政友會諸君ノ雙肩ニ懸レルモノト覺悟シナケレバナラヌノデアリマス(拍手)凡ソ財界ニ於キマスル所ノ斯ノ如キ混亂ヲ防グニ付キマシテハ、種々ナル對策ガアルデアリマセウ、若シ未ダ大事ニ至ラズシテ消止ムルコトガ出來マシタナラバ、一杯ノ「コッブ」ノ水ヲ以テ尙ホ火災ヲ豫防スルコトガ出來ルノデアリマス、一杯ノ「コッブ」ノ水ヲ以テ豫防スル手段ガアルニ拘ラズ、遂ニ蒸氣唧筒ニ非ザレバ火ヲ消サシメルモノデナイト云フ態度ヲ以テ大事ニ至ラシメタルモノハ、抑、政友會其責メアリト謂ハナケレバナラヌノデアリマス、此「モラトリウム」ヲ布カナケレバナラヌコト、即チ非常立法手段ニ依テ、此財界ノ救済ヲシナケレバナラヌト云フ此案其モノハ、實ニ私共ト致シマシテハ、大ナル累案ナリト信ジテ居ル一人デアリマスガ、遺憾ナガラ事後承諾ヲ與ヘネバナラヌコトヲ悲ムノデアリマス、其理由ハ本案ヲ假ニ吾々ノ權能ニ依テ否決致シマシテモ、本案ノ效力ハ僅ニ二日間ニ過ギナイノデアリマス、之ニ對シ賛成致シマシテモ、反對致シマシテモ、實際上下ノ問題ニ付テハ、大シタル影響ガナイノデアリマス、既ニ影響ナシト致シマシタナラバ、多少政府ニ敬意ヲ表シテ徒ニ混雜ヲ

來スヨリカ、涙ヲ吞ンデ此案ニ賛成スルノ已ムナキニ至ルノデアリマス、吾々ガ一ツノ法案ニ對シテ、案ノ發生シ來ル所ノ原因ニ對シ、責任ノ究ムベキモノアリトシタナラバ、之ヲ究メテ贊否ヲ決スルコトガ至當ナリト認メタ場合ニ於キマシテハ、吾々ハ假令本案ニ賛成致シマシテモ、其理由ハ自ラ反對ノ地位ニ立テ居ル所ノ政友會トハ違フノデアリマス、政友會ノ代表者トモ見レベキ所ノ中橋君ハ何ト言ヒマシタカ、中橋商工大臣曰ク「モラトリウム」ノ勅令ニ依テ次第ニ落付イテ參リマシタガ、此調子デ行キマスレバ、格別ナル影響モ無クシテ済ムデアラウト云フコトヲ、數日前本壇上ニ於テ聲明シタルデアリマス、其影響ノアルヤ否ヤハ固ヨリ見ル所ヲ異ニスルカモ知レバセヌケレドモ、此壇上ニ於テ「モラトリウム」ヲ影響ナシトシテ支持シテ居ル所ノ國務大臣ガ、今日ノ委員會ニ於テハ明ニ重大ナル影響アリト云フコトヲ告白シタルデアリマス、此壇上ニ於テハ「モラトリウム」ヲ布イタ責任ヲ回避スルガ爲ニ、何等影響ナシト空囁イタ所ノ中橋君ハ、又二枚舌ヲ使テ委員會ニ於テハ、明ニ重大影響ガアルト云フコトヲ告白シタデハナイカ(拍手)然ラバ此内閣ノ吾々ニ示ス所ノ幾多ノ施設中、二枚、三枚舌ノアルコトハ、豫メ用心シテ掛ラネバナラヌノデアリマス、此猶豫令ニ關スル過去ノ責任ハ、先刻モ申上ダタ通り政友會ノ責任、而シテ責任ヲ以テ此猶豫令ヲ布イタ惡影響ニ對シマシテハ、是亦政友會ノ責任デアアルノデアリマス、故ニ私ハ最モ關係深キ商工界ニ於ケル所ノ影響如何ト云フコトヲ、委員會ノ席上ニ於テ追窮スルコトガ、實ニ此法律案ヲ決定スルニ重大ナル關係ヲ持タルデアリマス、然レニ初メハ影響ナシト言ヒ、後ニ影響アリト言フ、而シテ斯ノ如ク重要ナル非常法律ヲ發布スルニ當テ、商工界ニ及ボス所ノ影響ヲ豫メ考慮スル所ナクシテ、之ヲ發布セルハ大ナル責任ヲ有スル國務大臣ノ職責ヲ解セザル者ナリト言ハザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)此點ニ關シ委員會ノ席上中

橋大臣ニ對シ數次ノ答辯ヲ求メマシタ所、事咄嗟ニ起リ、是ガ對策ヲ遂ニ發見セズシテ今日ニ至リ、白狀シタノデア、苟モ政黨内閣ヲ造リ、政策ニ付テ常ニ調査シ準備スル所ガアリ、而モ其政策ハ必ズ責任ノ地位ヲ得テ實行スルダケノ用意アルヲ政黨内閣ノ特質トスルナラバ、「モラトリウム」ニ依テ受クル所ノ我が產業界ノ影響ニ付キ、豫メ假定シ想像シ、アリ得ベキ事ヲ推定シテ萬々遺算ナキ對策ヲ立ツルノハ、立憲政治ニ於ケル政黨及其内閣ノ當然ナル用意デアノミナラズ、立憲大官ノ責任デア（拍手）然ルニ何事ゾ「モラトリウム」ヲ施行シタガ、其影響ニ付テハ咄嗟ノ間ヲ以テ見當ハ付カヌカラ、其成行ヲ見テ考フルト云フコトハ、何タル無責任何タル無定見デアリマセウカ、（拍手）是ニ於テ中橋大臣ニ對シ質問ヲ致シタノデアリマス、此咄嗟ニ起リ「モラトリウム」ノ影響ハ、如何ニ轉換スルカハ分ラヌト云フコトハ、吾々トシテハ承服ハナラヌ、何故トナレバ「モラトリウム」ノ實施セル諸外國ノ實例ヲ、餘リ遠イ所ニ求ムル必要モナク、近ク大正十二年ノ震災ニ於テ猶豫令ヲ施行シタル其成績ハ、政治家若ハ政黨ハ之ニ對シテ相當ナル體驗ヲ經テ辰ル筈デアリマス、既ニ然ルト致シマシタナラバ、「モラトリウム」ヲ布イテ、其影響ガドウ來ルカ分ラヌ、或ハ來タ後ニ之ヲ考フルナド、云フ無責任ナル言論ハ、政友會ノ如キ大政黨ノ有力者大臣トシテハ氣ノ毒千萬ナル人デアッテ、現内閣總理大臣ニ相當セル所ノ商工大臣デアリマス、（拍手）此影響極メテ大キイノデアリマス、例ヘバ生産ヲ振興セシムルニ付キマシテモ、原料ハ必要デアリマセウ、原料ノ買入ニハ資本ガ必要デアリノデアリマス、又大工業ヲ維持シテ行ク上ニ於テモ、給料若クハ俸給ニ對スル例外規定ガアリマステレドモ、多クノ銀行ニ對シテ其資本ヲ貯藏シ若クハ融通シナケレバナラヌト云フ時ニ、此資本ノ源泉ヲ杜絶シテ以テ、商工業、產業ニ影響ナシトハ實ニ御目出度イ話デアルト私ハ信ズルノデア（拍手）果セル哉東京

市ニ於キマシテモ、或ル米穀問屋ハ、其生産地ニ向テ米ノ廻送ヲ求メタ時ニ、爲替ハ組メヌカラ米ガ送ラレヌト云フ返辭ハ、頻々トシテ私共ノ耳ニ入ルノデアリマス、一ツノ米屋デスラズノ如シ、況ヤ其原料ヲ消化シテ以テ工業ヲ盛ナラシムルト云フ此大分ナル時ニ當ッテ、而モ政友會ハ産業立國ヲ旗印トシ、大養毅君ノ看板ヲ貫ッテ、田中大將日本全國其看板ヲ昇リ廻ッテ居ル所ノ産業立國ノ旗ハ將來ニ互リ二十億ノ負擔ト七億ノ補償ニ依ッテ泥土ヲ塗ラレ、政友會ハ産業ノ基礎ヲ破壞シ、商工業ヲ萎微セシメ、仍テ以テ産業立國論ハ今正ニ一大破産ヲ爲シツ、アルト云フコトヲ證據立テルモノデア（拍手）産業振興ヲ強調シ、産業立國ヲ看板ニシナガラ、吾國産業ノ根柢ヲ破壞シ、之ヲ脅威スルガ如キ産業立國策ハ田中内閣ニ於テ始メテ實施セラレルノデアリマス（拍手）、是故ニ私ハ此點ヨリ種々ナル考慮ヲ致シマシタル結果、中橋君ノ矛盾ヲ正シ與黨デアアリマセウクレドモ、聊カ進言シタイノデアリマス、即チ此「モラトリウム」ノ結果日本全國ニ及ボシタル影響ハ、國家トシテハ如何様ニシテモ之ヲ救濟セナケレバナラヌ、之ヲ救済スルニ付テハ、何等カノ案ガアルカドウカト問イタ所ガ、マダ何ニモ持合ハセガ無イト云フノデアアル、此惡影響ヲ除去シ、而シテ是ガ對策ヲ速ニ確立スルノガ當然デア（拍手）「モラトリウム」ノ期間ハ僅カ數日ヲ殘ス今日ニ、尙ホ此大損害ヲ匡救スベキ法案ノ無イト云フコトハ、何タル無能無經驗ノ大臣デアリマス、既ニ影響ナシト致シマシタナラバ格別、委員會ニ於テハ兜ヲ脱イデ影響アルト云フコトヲ言フ以上ハ、自ラ諍イタ種ハ彼レ自身ニ依ッテ補ナケレバナリマセン、商工大臣速ニ是ガ對策ヲ示スベシト言ウタノハ吾々トシテ當然ノコトデア（拍手）デアリマス（ソナコトヲ言フノハ憲政會ノ恥辱ダゾ）ト呼ビ其他發言スル者多シ）洵ニ斯様ナコトヲ申上ゲマスレバ、政友會ノ一大恥辱ニナルノデアリマス、故ニ彼等ハ狼狽シクサツテザワトシテ唯、徒ニ罵詈譏

謗スルノミデアリマス、果シテ彼等何等ノ正論ガアリマスカ、何等彼國民ノ前ニ直面シテ此所信ヲ披瀝スルノ勇氣ガアリマスカ、吾々ハ左様ナ者デハナイ、敵トナリ味方トナッテモ、此法案ニ依ッテ受ケタ所ノ影響ハ、國民ト共ニ匡救シナケレバナラヌト云フコトノ見地ニ立ッテ居ルノデアッテ、公明正大ナル吾黨ノ態度ヲ示シテ居ルノデアリマス、政友會ハ之ニ對シテザワトスルナドト云フコトハ、何タル不謹慎ナコトデア（拍手）斯ノ如ク本案ニ關シマシテハ、先ニ二億圓ノ臺灣救済案ニ反對致シナガラ今ハ形ヲ變ヘテ二億圓ノ救済案ヲ本院ニ提出シ、速ニ協賛シテ吳レト言ッテ、哀訴嘆願シテ居ルノハ政友會デアアリマセヌカ、即チ臺灣ニ關スル金融ノ救済案、其主體ハ其所ニ在ルノデアリマス、斯ノ如キ彼等ガ無責任ナルヤ樞密院ト通謀シテ内閣ヲ破壞シ、破壞シタ後ハ預ケタ金ハ取ルナ、資本ノ融通ハスルナ、生産ノ資本ハ其儘ニシテ置ケ、斯ノ如キ政治ヲ行フナラバ、工藤鐵男一人デ此時局ヲ收拾シ得ルノデアリマス（拍手）是ガ即チ立憲政治國ノ大臣、大政黨ノ大臣、立憲ノ常道ニ則ッテ内閣、斯ノ如キコトヲ立立テ、來マシテ、私ハ昭和ノ新政ニ當ッテ斯ノ如キ總理大臣、斯ノ如キ大臣、而シテ彼ガ如キ政友會ニ依ッテ支配セラレル現政局コソ、益々混亂ヲ馴致シ國民コソ實ニ迷惑千萬ナリト信ゼザルヲ得ナイノデアリマス（拍手、發言スル者多シ）最早結論モ近ゾイタカラ御靜ニナサイ、諸君ハ必ヤ私ノ結論ニ共鳴スルデアリマセウ、即チ本案提出ニ至ッタル動機ハ、政友會ノ政權ヲ取ルニ急ニシテ、此爾後ノ影響ヲ救フノ案モナク、何等經驗モナク、内閣ヲ取ッテ以テ一時ニ金融界ニ向ッテ箱口令ヲ布キ、手ヲ縛リ足ヲ縛ッテ國民ヲ恰モ罪人扱ヒニシテ、政權ヲ恣ニスル所ノ一ツノ暴案デア（拍手）シテ見マスレバ此案ヲ出シタ責任モ重大デアリ、此案ヲ出サナケレバナラナイニ至ッテ政友會ノ責任モ極メテ大ナルモノガアルノデアリマスルカラ、私ハ茲ニ斷言ス、政友會ハ樞密院ト

策動シ内閣倒置ヲナセル結果、本案ヲ以テ僅ニ一時ヲ糊塗スルニ過ギナイト云フコトヲ、茲ニ結論トシテ申上ゲルノデアリマス（拍手）終ニ臨ンデ私ハ一言申上ゲマス、田中新總裁ノ政策並ニ其態度ニ對シマシテハ、田中内閣即チ政友會内閣ヲバ、國民ハ斷ジテ信ジテ居リマセヌガ、唯、僅ニ憲政常道ノ「レール」ニ乗ッタト云フダケニ過ギナイノデアリマス、其「レール」ニ乗ッタ後ニハ、大命ヲ拜シテ後三十九度ノ熱ヲ起シテ、其職務ヲ執ル能ハズ、其後開院式ニ於テハ玉座ノ禮拜ヲ忘レ、本會ヲ開イテハ施政方針ノ演說ヲ爲サズ、一度本壇及委員會ニ於テハ國務大臣ノ答辯ヲ離滅裂、何等統一ナク、委員會ノ席上ニハ臨時即席ノ閣議ヲ開カケレバ、答辯ノ出來ナイヤウナ狀態ハ、憲政常道ノ内閣、果シテ何ノ顔色ガアルノデアリマスカ、私ハ個人トシテハ尊敬スル先輩ノ大臣モアリマスガ、如何ニモ不統一、如何ニモ憲政非常道デア（拍手）コトヲ感ジマシテ、本案ニハ贊成致シマスルガ、極メテ不滿ナル感情ヲ披瀝シ、此理由ヲ申上ゲテ、已ムヲ得ズ贊成ハ致シマスルガ、其理由ヲ明ニシタ次第デアリマス（拍手）

○議長（森田茂君） 井上孝哉君

○井上孝哉君 簡單デアリマスカラ、此席デ御許ヲ願ヒマス（登壇々々）ト呼ビ其他發言スル者多シ）財界ノ恐慌ニ直面シテ組織セラレマシタ現内閣ガ、焦眉ノ急ニ處スル爲ニ「モラトリウム」緊急勅令ヲ發布致サレマシタコトハ、最も適當ナル、最善ヲ盡シタルモノト信ジマシテ、茲ニ本案ニ承諾ヲ與ヘ贊意ヲ表シマス

○井本常作君 本案ニ對スル討論ハ此程度ニ於テ終了セラレシコトヲ望ミマス

○贊成贊成ノ聲起ル

○議長（森田茂君） 井本君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○議長（森田茂君） 御異議ナシト認メマス、仍テ討論ハ終局致シマシタ、是ヨリ採決致シマス、本案ノ委員長報告ハ承諾デア

リマス、此委員長報告ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者起立〕

○議長(森田茂君) 起立多數——仍テ本案ハ承諾ヲ與ヘルコトニ決シマシタ、此際暫時休憩致シマス

午後三時五十六分休憩

午後三時二十五分開議

○議長(森田茂君) 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、議事ノ進行ニ關シテ武藤山治君ヨリ發言ノ通告ガアリマス、此際之ヲ許可致シマス、武藤山治君

〔武藤山治君登壇〕

○武藤山治君 議事進行ニ付キマシテ議長ニ伺ヒタイ事ガアルノデアリマス、ソレハ私共ノ提出致シテ居リマス臺灣銀行不始未調査閣會議設置ニ關スル決議案、及休業銀行ノ整理救済ニ關スル決議案ニ付キマシテ、吾々ノ希望スル所ハ、此兩決議案ハ今回ノ財界ノ動搖ニ最モ關係ノ有ルモノデアリマスガ故ニ、政府提出ノ二法案ガ本議場ニ於テ論議サレ、其決議ヲ見マシタ場合ニ於キマシテ、直ニ引續キ之ヲ上程セラレ、論議ヲセラレンコトヲ偏ニ願フ者デアリマス、然ルニ私ノ漏レ承ル所ニ依リマスルト云フト、政府提出ノ二法案ガ可決セラレタ後ニハ、直ニ休憩ヲ宣セラレテ、吾々ノ提出シテ居ル所ノ、此財界ノ動搖ニ最モ關係ノ有ル所ノ此二法案ガ、或ハ場合ニ依リテハ定數ヲ缺クヤウナコトニナレ、此臨時議會ニ於テ議セラレナイヤウナ結果ニ終リハセヌカト云フコトノ疑念ヲ懷クニ至リタノデアリマス、故ニ議事ノ進行上、此二法案ナルモノハ普通ノ法案ト異リ、最モ此財界ノ動搖ニ付テ關係ノ有ルモノデアリマスルカラ、政府ガ提出シタ所ノ二法案デアルカラシテ、玆ニ之ヲ議シ、吾々ノ提出シタ所ノ二法案デアルガ故ニ之ヲ議シナイト云フヤウナコトガアリマスルナラバ、私ハ我國ノ議院政治ノ爲ニ最モ悲マザルヲ得ナイノデアリマス、故ニ私ハ議長ニ御同致シマス、ドウカ此私ノ希望ハ、政府提出ノ二法案ガ議セラレタ後ニ、直ニ引續キ休憩ヲ

宣セラレズニ、吾々ノ提出シタ所ノ此二法案ヲ議題ニ供セラレンコトヲ御願フ致スノデアリマス、此點ニ付テ議長ハ政府提出ノ二法案ガ議セラレタ後ニ、休憩ヲ宣セラレルコトガナイカドウカ、此點ニ付テ私ハ御伺シタイデス(拍手)

○議長(森田茂君) 武藤君ニ御答フ致シマス、只今御心配ノ點ハ、議長ニ於テハマダ武藤君ガ御心配セラレル程ニ考ヘテ居リマセヌ、唯、是カラ先キノ進行ニ付キマシテハ、武藤君ノ仰シヤリマシタコトハ、承リ置クコトニ致シテ置キマス

○井本常作君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、此際政府提出、日本銀行特別融通及損失補償法案、及臺灣ノ金融機關ニ對スル資金融通ニ關スル法律案ヲ一括議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

〔賛成〕〔賛成〕〔呼フ者アリ〕

○議長(森田茂君) 井本君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(森田茂君) 御異議ナシト認メマス、仍テ其通り決シマス、日本銀行特別融通及損失補償法案、臺灣ノ金融機關ニ對スル資金融通ニ關スル法律案ヲ一括シテ、第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長町田忠治君

〔大藏大臣ハドウシタ〕〔呼フ者アリ〕

日本銀行特別融通及損失補償法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一日本銀行特別融通及損失補償法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和二年五月八日

委員長 町田 忠治

衆議院議長森田茂殿

日本銀行特別融通及損失補償法案中左ノ通修正ス

第一條 日本銀行ハ(小字ハ委員會修正) 〇現ニ預金ノ拂戻停止中ニ非ザル

〇定期預金(含ム)ノ支拂準備ニ充ツル爲資金融通ノ請求アリタル場合ニ於テ財界ノ安定ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ之ニ對シ手形割引ノ方法ニ依リ大藏大臣ノ定ムル特別融通ヲ爲スコトヲ得

現ニ預金ノ拂戻停止中ノ銀行ニシテ將來營業繼續ノ見込アルモノニ付テハ前項ノ規定ヲ適用ス

日本銀行ガ前二項ノ特別融通ヲ爲スニ付テハ特別融通審査會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス

特別融通審査會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

希望條項

一 日本銀行特別融通及損失補償法並臺灣ノ金融機關ニ對スル資金融通ニ關スル法律ノ運用ニ付テハ政府ハ損失補償ヲ減少スルニ努ムルコト

二 日本銀行カ特別融通ヲ爲ス場合ニ於ケル割引歩合ハ國債以外ノ擔保貸付歩合以上タルコト

三 日本銀行カ不動産ヲ見返リトシテ融通スルニ際シテハ成ルヘク其ノ手續ヲ簡捷ニスルコト

四 信用組合中員外預金ハ其ノ制度並機能ニ於テ貯蓄銀行ト同一視スヘキモノナルニ依リ產業組合中央金庫ヲシテ特別融通ノ途ヲ開ク爲政府ニ於テ機宜ノ處置ヲ執ルコト

臺灣ノ金融機關ニ對スル資金融通ニ關スル法律案(政府提出)

報告書

一臺灣ノ金融機關ニ對スル資金融通ニ關スル法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和二年五月八日

委員長 町田 忠治

衆議院議長森田茂殿

日本銀行特別融通及損失補償法案中左ノ通修正ス

第一條 日本銀行ハ(小字ハ委員會修正) 〇現ニ預金ノ拂戻停止中ニ非ザル

〇定期預金(含ム)ノ支拂準備ニ充ツル爲資金融通ノ請求アリタル場合ニ於テ財界ノ安定ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ之ニ對シ手形割引ノ方法ニ依リ大藏大臣ノ定ムル特別融通ヲ爲スコトヲ得

現ニ預金ノ拂戻停止中ノ銀行ニシテ將來營業繼續ノ見込アルモノニ付テハ前項ノ規定ヲ適用ス

日本銀行ガ前二項ノ特別融通ヲ爲スニ付テハ特別融通審査會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス

特別融通審査會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

希望條項

一 日本銀行特別融通及損失補償法並臺灣ノ金融機關ニ對スル資金融通ニ關スル法律ノ運用ニ付テハ政府ハ損失補償ヲ減少スルニ努ムルコト

目下ノ財界ニ緊要ナルノ故ヲ以テ、委員諸君ハ一日午前十時ヨリ午後十時半ニ至リ、更ニ昨日ハ又午前十時ヨリ午後九時半ニ至ルマデ質問應答ヲ重ネ、誠意ヲ以テ財界ノ安定ヲ圖ルガ爲ニ、是等ノ法案ガ果シテ完全デアアルヤ否ヤト云フコトニ向テ十分ナル審議ヲ盡シタルデアリマス、而シテ其審議ニ對シマシテ、國務大臣ノ意見及答辯ノ一致セザル所アルガ爲ニ、二度休憩ヲ致シマシテ、此間ニ頗ル長時間ヲ要シタル次第デアリマス、而シテ昨日ノ午後九時半ニ於キマシテ、大體ノ質問ガ終了致シ、今日午前二時於キマシテ、各派ノ態度ヲ決定シ、午後一時ヨリ討論ヲ開キマシテ、茲ニ此二法案ニ對スル委員會ノ決定ヲ見タル次第デアリマス、私ヨリ申ス迄モナク、此二法案ハ勅令第九十六號支拂猶豫令ト共ニ、五十三議會ヲ召集セラレマシタル主要目的ガ茲ニ在リマスルガ故ニ、此二法案ニシテ完全ナル成案ヲ得ナクハ、是ガ爲ニ財界ノ安定ハ勿論、商工社會、一般經濟社會、延イテ思想界ニマデモ重大ナル影響ヲ及ボスベキコトアルヲ慮テ、委員諸君ガ二十數時間ノ長キニ渉リ慎重審議セラレタ云フコトヲ、私ハ茲ニ再ビ繰返シテ申シマス、殊ニ此案ニシテ一步其處置ヲ誤レバ是ガ爲ニ國民ニ向テ一ツノ法案ハ五億ノ負擔ヲ負ハシメ、結局國民ニ向テ七億ト云ヘル大負擔ヲ負ハシメル案デアリマスガ故ニ、吾々委員ハ此法案ヲ完全ニスルト同時ニ、出來得ベクンバ一切ノ負擔ヲ國民ニ負ハシメズシテ、財界ヲ如何ニスレバ安定スルカト云フコトニ付テ、非常ナル苦心ヲ拂タノデアリマス(拍手)或ハ此案ヲ以テ長イ十箇年ノ間ニ大正七八年以來財界ノ好景氣ニ乘ジテ勃興シタル諸事業、諸金融機關ノ不謹慎ナルガ爲ニ、今日尙ホ全國ニ禍根ヲ貽シテ居ルモノハマダアリマス、之ヲ整理スルガ爲ニ此法案ヲ出シタカノ如ク見ユル點モナイデアアリマス、併ナガラ私共ノ目的トスル所ハ、支拂猶豫令ノ期限ガ過ギマス

ルト、來ル十三日ニ於テハ、財界茲ニ全ク安定シ、大風一過、如何ナル方面ニ於テモ、一切ノ取付ナドノナイコトヲ希望スルノデアリマス、若シ左様ニ相成リマスレバ、十箇年ノ間ニ金融機關ヲ整理スルコト云フ大藏大臣ガ屢、述べタル、副作用ノ爲ニ、此大法案ヲ作ルト云フコトニ相成リマスガ故ニ、私共ハ主トシテ目下ノ財界ヲ安定スルガ爲ニ此法案ヲ通過シ、而シテ此法案ヲ通過シタガ爲ニ國民ノ安心ヲ買フテ、一切ノ財界ノ動搖ヲ一舉ニシテ避クルコトヲ主眼トシテ、審議致シタモノデアリマス(拍手)私共ハ一日以來昨日ノ深更ニ至ルマデ、此案ヲ爲ニ委員會ヲ開キ、今朝九時ヨリ態度ヲ決シ、成案ヲ作ル爲ニ實ハ寸暇モナクッデアリマス、此故ニ此際皆サンニ私ヨリ御報告致スコトハ、首尾貫徹ハ致シテ居リマセヌ、切レタ々ニ御報告致スヨリ外ハナイデアリマス、此點ハ諸君ニ於ケレマシテモ、私共ノ此二日間ノ立場ヲ諒トセラレテ、私ノ御報告申スコトハ何等一貫シテ居ラヌト云フコトニ對シテハ、御容恕ヲ願ヒタイ、唯、諸君ガ此法案ヲ審議セラル、ニ際シテ、多少御參考ニ相成ルと思ヒマス四箇條ヲ申上ゲマス(此時發言スル者多シ)○議長(森田茂君) 御靜ニ願ヒマス○町田忠治君(續) 委員會ニ於キマシテ質問應答ノ行ハレマシタル第一ハ、此案ニ依リ日本銀行特別融通ノ法案ニ於キマシテ、五億ヲ負擔スルコト云フ計算ノ基礎ハ何レカラ生ジタカト云フコトガ、屢問題ト相成タデアリマス、大藏大臣ノ説明スル所ニ依レバ、日本ノ預金ハ約百二十億アル、之ヲ大體二百億ト致シマシテ、其半分五十億ガ引出サレ、之ニ依テ日本銀行ガ特別融通ヲスルモノト概算セラレ、其割ハ場合ニ依レバ損失ニ相成ルト云フ概算ノ上カラ、五億ノ負擔ヲ國民ニ與ヘルト云フ基礎ヲ此ニ置イタト云フ説明デアリマス、次ニ法案ニ於キマシテ特別融通ヲ致シマス期限一箇年ト致シテアリマス、新聞紙ノ傳フル所ニ依リマスレバ、斯道ノ經驗家モ一箇年デハ長過ギル、三箇月ガ宜シイ、或ハ半

箇年ガ宜シイナド云フ種々ノ議論モアリマシタシ、委員會ニ於キマシテモ、此期限ニ對シ相當ノ質問應答ガアリマシタ、大藏大臣ノ説明スル所ニ依レバ、若シ之ヲ三月トシ、若クハ半年ト致シテ、ソレガ爲ニ財界ガ十分ニ安定セヌ、再ビ何等カノ機會ニ於キマシテ金融界ガ恐慌ニ襲ハレタ際ニ、再ビ斯ル法案ヲ出スコトハ、却テ一層金融界ノ動搖ヲ來ス虞ガアルガ故ニ、之ヲ一箇年ト致シタト云フコトデアリマス、殊ニ之ヲ六箇月ニ致シマスレバ、時恰モ年末ニ際シテ、何レノ金融機關モ資金需要ノ季節ニ入ル、此際ニ此問題ト重ナッテ、日本銀行ニ大キナル需要ヲ來スコトガアッテ、世間ノ誤リヲ來スガ故ニ、之ヲ一箇年ニシタト云フ大藏大臣ノ説明デアリマス、次ニ貸付ノ利息ヲシテ國債同様、極メテ低利ナ歩合ニシタト云フコトニ對シテモ、相當論議ヲ盡サレタデアリマス、委員ノ方々ノ質問ハ、銀行ガ取付ヲ受ケテ、ソレガ爲ニ銀行ノ營業ヲ維持スルノ爲ニ特別ノ融通ヲ求ムルナラバ、左様ナ國債同様ノ低利ナ資金デナクテモ宜イデヤナイカト云フ質問ガ相應アリマシタガ、之ニ對シテ大藏大臣ノ説明ハ、恐慌ヲ來シテ銀行ニ取付ガアルガ故ニ、此金利ヲ安クスルト云フコトニ對シテハ、何等ノ御説明ハナクッデアリマス、日本千數百ノ銀行中、其基礎ノ鞏固ナラザルモノハ少クナイ、此機會ニ此法案ヲ提出スル必要ニ迫ラレタト同時ニ、其副產物トシテ大藏大臣ノ言葉ハ副產物ト云フ言葉デアリマス、副產物トシテ之ヲ利用シテ、全國ニアル基礎鞏固ナラザル銀行ヲ救濟整理致シタイ、ソレガ爲ニハ高利金利デハ整理ガ覺束ナイガ故ニ、此利息ノ公債同様ニ安クシタト云フコトガ、大藏大臣ノ説明デアリマス、委員諸君ノ中カラ、若シ斯様ノ安イ利息ヲ以テ、特別融通ヲ致シタナラバ、是ガ爲ニ種々ナル弊害ガ生ズルコト云フコトニ對シテ、種々ナル質問ガ力說サレ、遂ニ十年ノ間此貸付ガ還テ來ナケレバ、ソレガ爲ニ勢ヒ通貨ノ膨脹ヲ來シ、是ガ爲ニ物價ノ騰貴ヲ來シ、是ガ爲ニ貿易ノ逆調ヲ來シ、

是ガ爲ニ中間空氣ヲ生ジ、經濟社會ヲシテ再ビ變態ニ陥ラシムル虞ガアルト云フコトニ付キマシテハ、力說セラレタデアリマス、大藏大臣ハ之ニ對シテ明快ナル御答辯ハナクッデアリマス、多分何等カノ方法デ此金ハ回收サレラウト云フダケノ御話デ、其際如何ナル對策ヲ以テ金融市場、經濟市場ヲ調節スルカト云フ的確ナル政策ヲ御示シサナクッデアリマス、委員長ハ勿論、委員諸君ガ頗ル遺憾トサレテ居タヤウニ見受ケマス(拍手)唯、其際大藏大臣ノ言明サレタコトハ申上ゲテ宜シイ、大藏大臣ハ屢、新聞ニハ通貨數量ヲ排シテ、通貨ト物質ハ何等關係無シト常ニ唱ヘラレテ居ラレル人ノ如ク、世間ニ傳テ居ルガ、大藏大臣ハ昨日ノ委員會ニ於テ此對策ヲ質問サレタ際ニ、其對策ニ對シテハ答ヘヌト云フ言明ノ下ニ、唯、一言附加ヘテ置キタイコトハ、大藏大臣ハ會テ物質ト通貨トハ關係無シト云フ意見ヲ出シタコトハ會テ無イト云フコトヲ言明サレタコトハ、此席御報告シテ然レベシト私ハ思ヒマス(拍手)次ニ頗ル大キナ問題ハ、休業銀行何故ニ此特別融通法ニ依テ救濟シナイカト云フ質問ハ、多數ノ諸君カラ出タデアリマス、新聞紙ニモアリ、多數ノ預金者カラモ屢、此問題ハ熱烈ニ要求サレ、一步誤ルト社會問題トハ申シマセヌガ、社會秩序ノ上ニモ多少考慮シ、思想問題ニモ考慮ヲセナケレバ重大ナル問題ト、委員諸君ニ於テモ考ヘラレマシタト見エマシテ、此問題ニ對シテ、屢質問應答ヲ重ネラレマシタ、然ルニ大藏大臣ハ既ニ休業シテ居ル銀行ハ、此特別融通法ニ依テ如何トモスルコトガ出來ナイ、ソレニ對シテ委員諸君ノ中カラ、二十二日以後ニ於キマシテ、日本銀行ガ英斷ニ依テ相當思切ッ貸出ヲシテ、或ル銀行ニ向テ融通シタト同様ノ考ヲ以テ、十七八日頃カラ斯様ノ態度デアッタナラバ、今日休業シテ居ル銀行ハ休業セズニ濟ンダノデハナクッカ、甚ダ遺憾デアアル、殊ニ今後ノ銀行ハ擔保其他ニ對シテ餘程緩ヤカナ待遇ヲ受ケルニ拘ラズ、既ニ休業シテ居ル銀行ハ、日本

財界ヲ安定スル所以デナイト云フコトノ實
問ガ相當出マシテ、大藏大臣ハ斯様ナ「コ
ール」デモ、其銀行ガ地方銀行——「コ
ール」ヲ放出シテ居ル銀行ガ必要ト見ル場合
ニハ、其銀行ガ取ツテ居ル手形其他ノ債券
ノ模様ニ依ツテ、之ニ相當ノ融通ヲスルコ
トハ勿論デアルト、斯様ニ答ヘラレテ居ル
ノデアリマス、次ハ是ハ私ヨリ申上ダズト
モ、速記録ヲ御覽下サレバ只今私が申上ダ
タコトノ多クハ、私ヨリモ速記録ノ方が宜
シト思ヒマスケレドモ、速記録ハマダ出
來テ居リマセヌ、而シテ只今アナタ方ハ此
處デ決議サル、ト云フ、斯ウフ場合デア
リマスルカラ、私トシテモ甚ダ斯様ナコト
ヲ長ク申上ダルコトヲ本意ト致シマセヌケ
レドモ、更ニモウ少シ内容ヲ申上ダルノガ
諸君ノ公平ナル決議ヲナサル爲ニハ、必要
カト存ズルノデアリマス(拍手)擔保株式ノ
種類ヲ如何ニスルカト云フ問題ニ對シテ、
大藏大臣ハ、從來ノ日本銀行ガ取ツテ居ル
株式ハ多ク市場ニ掛ツテ居ルモノ、中カラ、
或ル一部分ヲ取ツテ、日本銀行之ヲ擔保ト
シテ融通ヲシテ居ルガ、今後ハ此擔保ノ範
圍ヲ擴メルノミナラズ、地方株券ノ如キハ
中央市場ニ於テ現レテ居ラヌ、併ナガラ其
地方ニ於テハ確實トシテ、地方人ノ間ニ信
用ノ多イ株式モ少クナイ、斯様ナモノハ周
到ニ調ベテ、東京デ分ラズトモ、其地方ニ
於テ確實ナリト認メテ居ル株式ハ、必ズ之
ヲ特別融通ノ中ニ入レテ、出來ルダケハ金
融ノ圓滑ヲ圖リ、由ツテ生ズル所ノ財界ノ
安定ヲ圖ルコトニ全力ヲ盡ス、斯様ナ誠意
アル御答辯デアリマシタ、茲ニ私ハ最も大
事ニシテ、且ツ論議セラレマシタ憲法論ヲ
御紹介スルノハ此際ト思ヒマスルガ、事柄
ガ臺灣銀行ニ對スル法案ト關聯致シテ居リ
マスルガ故ニ、私ハ先ツ茲ニ臺灣銀行ニ關
スル——臺灣金融機關ニ關スル法案ノ大體
ヲ御紹介シテ、最後ニ憲法問題ヲ申上ダ
ルノガ、雙方ニ關聯シテ居リマスルガ故ニ、
其方が順序ガ宜カラウト斯様ニ考ヘマスカ
ラ、暫時御清聴ヲ願ヒマス、臺灣銀行ニ關
スル問題ハ、私共委員ハ一方ノ日本銀行特

別融通ノ問題以上ニ考慮致シタルデアリマス、以上ト申シテハ私ノ言ヒ現シガ惡イカモ知レマセヌ、斯様ナ意味デアリマス、一方ハ大藏大臣ノ説明ニ依ルト、場合ニ依レバ五十億ヲ融通シナケレバナラヌガ、或ハ是ガ爲ニ一割、五億ヲ損失スル虞ガアル、斯様ナ損失ハ生ゼヌヤウニ努メルガ、場合ニ依テハ斯様ナ損失ヲ生ズル虞アルガ故ニ、豫メ立法院ノ協賛ヲ得テ置クト云フ意味デアッテ、大藏大臣ノ説明ニ依リマシテモ、法案ニ依リマシテモ、必シモ國民ニ五億ノ負擔ヲサセル意味デナイコトハ申スマデモアリマセヌ、一方ノ案モ左様デアリマス、唯、何人ガ見テモ驚クベキモノハ、政府ノ命令ニ依テ臺灣ニ對スル特別融通ハ、二億ヲ貸出シテ二億ヲ損失スル場合ガアル、斯様ナ法案デアリマス、若シ此臺灣ニ關スル法案ノ趣意ヲ以テ——日本銀行特別融通ノ法案ヲ此意味ヲ以テ假ニ修正スルト假定スレバ、五十億ヲ特別融通スルガ爲ニ、場合ニ依レバ國民ニ向テ五十億ヲ負擔サセルコトガアルト云フ法案ト相成ルガ如キ、臺灣金融機關ニ對スル補償額ト融通額ト一致シテ居ル程ニ、臺灣金融機關ノ結果シテ微弱ニシテ、斯様ナ不良ナ事情ニ在ルカ否ヤト云フコトハ、委員ノ最も其真意ノ在ル所、其事情ノ在ル所ヲ諒解セント努メタルデアリマス(拍手)大藏大臣ハ臺灣ニ對スル法案ノ説明ニ於キマシテ、獨リ臺灣銀行此ノ爲ノミナラズ、臺灣一般ノ金融機關ノ機能ヲ發揮セシメテ、臺灣ノ統治ノ必要上、此機能ヲ發揮セシムルト同時に、帝國ノ海外ニ於ケル信用ヲ維持スルガ爲ニ二億ヲ貸出シテ二億ヲ補償スルト云フ此法案ヲ出シタルト云フ大體ノ説明デアリマス、私共モ此理由書ヲ見テ左様デアルト考ヘマシタ、唯、赤標々ニ申シマス、其際ニ於ケル——大藏大臣ハ御承知ノ通り率直ナ方デアルガ故ニ、少シ御説明ガ餘計ニ過ギタヤウニ私トシテ考ヘタノハ、臺灣ノ金融機關ト云フノハ臺灣銀行ノ事カト云フコトニ對シテ、臺灣ノ金融機關ト云フノハ臺灣銀行以外、其他金融業ニ關係アル諸銀行ヲモ含

蓄シテ居ルト云フ位ノ御説明ヲ私共ハ希望シマシタガ、大藏大臣ノ率直ナル臺灣ニ於ケル本支店銀行ノ名前ヲ一々列舉サレテ、左様デハナカッタウガ、恰モ其他ノ本支店銀行ガ臺灣銀行同様ノ基礎ノ下ニ在ルカノ如キ誤解又世間ニ起シテ居リハセヌカト私ハ心配シテ居ルトデアリマス(ノウウ)「拍手、其他發言者多シ」私ハ茲ニ、大藏大臣ノ眞意ハ左様デハナイ(發言スル者多シ)大藏大臣ノ眞意ハ左様デナイ、唯、大藏大臣ガ之ヲ言明サレ、大藏大臣……(發言スル者多シ)一寸御聽キナサイ

○議長(森田茂君) 御靜ニ願ヒマス

○町田忠治君(續) 金融界ノ安定ヲ圖ル誠意ヲ以テ、新聞ニ現レテ居ル、其誤解ヲ解クノデアリマス(拍手)新聞ニ現レテ居ル誤解ヲ解クノデアリマス(謹聽)委員長報告デアリマス、私ハ臺灣ニ於ケル本支店銀行ハ、臺灣銀行以外ニ於テハ、此無擔保ニ依テ特別融通ヲ政府ニ求メ、是ガ爲ニ政府ノ損失ヲ來スガ如キ銀行ハ一ツモナイト私ハ茲ニ斷言シテ、諸君ト共ニ大藏大臣ノ言明ハ左様ナ意味デナク、唯、臺灣ニハ斯様々々ノ銀行ガアルト云フ善意ノ説明デアッタト解釋シテ、世ノ中ニ傳ハテアル誤解ヲ解キタイト私ハ思フ(拍手)大藏大臣ノ説明ニ依リマスレバ……

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(森田茂君) 御靜ニ願ヒマス

○町田忠治君(續) 大藏大臣ノ説明ニ依リマスレバ、臺灣ニ於ケル金融機關ノ預金ガ約一億三千万圓、臺灣銀行ノ海外ニ於ケル信用トシテ債務ノ屬シテ居ル臺灣銀行ノ債務ガ約一千万圓、臺灣銀行ガ紙幣發行ノ爲ニ負ウテ居ル債務ガ約六千万圓、總計二億以上ガ臺灣ニ於ケル金融機關ヲ維持シ、其機能ヲ發揮セシムル爲ニ必要ダト云フ、二億ノ根柢ガ是カラ出テ居ルト云フヤウナ御説デアリマス、而シテ此問題ニ相關聯

シマシテ起リマシタルノハ、臺灣銀行ハ臺灣ニ於ケル本店及海外支店ノアルモノハ開業致シテ居ル、日本内地ニ於ケル臺灣銀行ノ支店ハ休業致シテ居ル、斯ル狀態ノ銀行ハ之ヲ開業シテ居ルト見テ宜シイカ、休業シテ居ルト見テ宜シイカト云フ問題ハ、實ハ昨日ノ質問應答ノ半バツト是ガ爲ニ費シタルデアリマス、斯ル問題ノ生ジテ來タノハ一方ノ法案ノ初メニ、銀行ニ對シテ預金支拂ノ爲ニ特別融通ヲスルト云フ銀行ノ請求ガアレバ致スト云フ、其銀行ハ大藏大臣ノ説明ニ依ルト休業シテ居ル銀行カラノ請求ハ之ニ應ゼヌ、營業中ノ銀行ニ限テ此特別融通ヲ致スト云フノガ大藏大臣ノ説明デアリマス、臺灣銀行ハ前申ス通り本店其他海外ニ於キマスル一部ハ開業シ、内地ニ於ケル支店ハ休業シテ居ル、之ヲ開業シテ居ル銀行ト看做シテ融通スルカ、休業シテ居ル銀行トシテ之ニ融通セザルカト云フ問題ハ、中メ質問應答ヲ加ヘテヤカマシイ問題デ、是ガ爲ニ昨日中ニ諸君ニ御報告スルコトノ出來ナカッタ一ツノ主ナル原因ト相成タコトヲ遺憾ト致シマス、之ニ對シテハ國務大臣ノ答辯ハ一致シテ居ラナカッタ、大藏大臣ノ説明ト小川國務大臣ノ説明モ一致致シテ居リマセヌ、遺憾ナガラ是ガ爲ニ議事ノ進行ガ抄リマセヌガ故ニ、一旦休憩致シマシテ、閣議ノ意見ノ一致シタル所ニ依テ御説明ヲ得ルコト、致シマシテ、昨日午後五時過ニ再ビ開キマシタルデアリマス、其際ニ又此問題ニ對シテ再ビ閣員ノ間致スルニ至ラナカッタデアリマス、或ル國務大臣ハ民法、商法ノ上カラ見レバ、臺灣銀行ハ一法人格トシテハ休業シテ居ラヌト云フ法律上ノ解釋ヲ主張サル、國務大臣モアリ、大藏大臣ハ經濟の見地カラ見テ、臺灣ノ本店ハ開業シテ居ルガ故ニ、是ガ爲ニ特別融通ハ致スガ、東京其他内地ノ支店ハ開業シテ居ラザルガ故ニ、之ニ融通セヌ、尤モ大藏大臣ノ心中ハ此法案ガ通過スレバ、一兩日ノ間ニ内地ノ臺灣銀行支店モ開業ノ順序ト相成ッテ、臺灣銀行本支店ガ

茲ニ開業シテ、過日來財界動搖ノ源ヲ成シタ所ノ臺灣銀行ハ、完全ニ營業ガ出來ルト云フ信念ガアッテ御答辯ト、私ハ斯様ニ解釋致シテ居リマシタガ、唯、委員會ニ於ケル法律上其他ノ質問應答ハ、委員諸君ノ十分ナル諒解ヲ得ルコトガ出來ズシテ、議事ノ進行ガ停止致シマシタガ故ニ、再ビ委員會ヲ暫ク休メマシテ、閣議ニ於テ更ニ御熟議ヲ願フタ次第デアリマス(拍手)委員長並ニ委員ニ於キマシテハ、出來ルダケ昨日中ニ此法案ノ質問ヲ終リ、審議ヲ盡シテ本會議ニ掛ケルノ誠意ヲ以テ致シマシタガ、斯様ナ行懸リ、行違ヒカラシテ今日ニ及ンダコトヲ、諸君ニ於テ諒セラレンコトヲ希望シマス(拍手)向ホ私ハ何カ臺灣銀行ニ對スル内情ヲ暴露スル意味ニ御聽取ニナッテハ私ハ本旨デアリマセヌ、誠意ヲ以テ——政府當局者ト吾々委員ハ、財界ノ安定ヲ一日モ早く圖ルト云フコトノ誠意ヲ持ッテ居リマス、是ガ爲ニ茲ニ申上ダマスルコトハ——之ヲ申上ダマスルコトハ却テ全國ノ財界ヲ安定スル所以ナリト考ヘマスルガ故ニ、極ク簡單ニ申シマスルト、臺灣ニ關スル法案ノ二億貸出ト云フコトハ、單ニ臺灣内地ノ金融機關ノ機能ヲ全ウスルノミニ非ズ、又海外ニ於ケル日本帝國ノ信用ヲ維持スルノミニ非ズ、臺灣銀行ガ内地ニ於テ、私ハ其金額及其債務ノ種類ハ申シマスマイ、新聞ニハ略アルヤウデアルガ私ハ避ケマス、相當ナ金額ハアルデアリマス、此法案一度通過シテ之ヲ實現スル曉ニハ、臺灣内地ニ於ケル金融機關ノ機能ヲ全ウスルガ爲ニ費ス資金、海外ノ信用ヲ維持スルガ爲ニ費ス資金ヨリモ、内地ニ於ケル臺灣銀行ノ信用ヲ維持スルガ爲ニ使用スル金額ハ、ソレ以上大キナモノデアルト云フコトハ、私ハ斷言出來ルト思フノデス(拍手)此點ニ對シテ小川委員ヨリ詳細計數ヲ舉ゲテ御話ニナッタルニ對シテ、大藏大臣ノ卒直ナル、理論上大體左様デアルト云フ御答ヲ得タガ故ニ(拍手)諸君ガ御承知ノ通り更ニ此問題ニ對シテ質問ヲ進メラル、委員諸君

ノ御希望モアリマシタニ拘ラズ、委員長ハ財界ノ爲ニ此質問ハ此程度打切ルコトガ必要デアルト思ヒマシテ、ソレ以上ノ質問ニ對シテハ委員長之ヲ差止メタ次第デアリマス、更ニ憲法上ノ問題ニ向テ、前内閣ガ財界ノ動亂ヲ避クルノ必要上、憲法第八條並ニ七十條ニ依テ緊急勅令ヲ奏請シ、之ニ依テ今日生ジテ居ルガ如キ財界ノ大動亂ヲ避クルノ誠意カラ、緊急勅令ヲ發布スル手段ニ出デマシタガ、不幸ニシテ是ガ敗レマシタ、之ニ對スル憲法上ノ意見ノ相違、政友會ノ總裁トシ、現内閣ノ總理大臣トシテ之ニ對スル御答ガアリマシタ、事頗ル重大ニシテ且ツ長クナリマスルガ故ニ、此問題ニ對シテハ我黨カラ出マスル討論者ニ讓リマシテ、私ハ之ヲ省キマス

〔憲政會ノ委員長カ〕我黨トハ何デト呼ヒ其他發言者多シ
○議長(森田茂君) 靜肅ニ願ヒマス
○町田忠治君(續) 次ニ斯ル質問應答ノ末ニ、委員會ニ於キマシテハ、修正案ガ出マシテ、多數ニ依テ其修正案ガ可決サレマシタ、其修正案ハ既ニ議長ノ手許ニ參テ居リマスルガ故ニ之ヲ省キマス、尙ホ此法案ヲ完全ニ實行シ、其效果ヲ完カラシメテ、一日モ早く財界ヲ安定セシムルノ誠意ヨリ、吾々委員ノ多數ハ、日本銀行特別融通法及臺灣ニ關スル特別融通法案ニ對シテ、四箇條ノ希望ヲ述ベテ居リマス、此希望モ既ニ委員會ニ於テ申シ、又議長ノ手許ニアリマスルガ故ニ、其詳細ハ齊シク我黨ノ討論者ニ讓リマス、大體ハ斯様ナコトデアリマスガ、若シ必要デアルトスレバ、茲ニ朗讀致シマス〔我黨トハ何故言フノデ〕ト呼ヒ其他發言スル者多シ〔今議長カラ承ルト、既ニ其修正案及希望條件ハ、諸君ノ御手許ニ廻テアルト云フコトデアリマスルカラ、私ハ茲ニ之ヲ省略致シマス〕私トシテ諸君ニ甚ダ御詫ヲ致サナケレバナラナイコトハ、私ハ申上ダタ積リデアリマシタガ、斯様ニシテ修正案及希望條件ハ、多數ヲ以テ可決セラレタト云フコトヲ御報告致シマス(拍手)

〔此時發言スル者多シ〕
○議長(森田茂君) 御靜ニ願ヒマス、委員長ノ報告ニ對シテ質疑ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許シマス、岡田溫君
○岡田溫君 我ハ極ク簡單ナ質問デアリマスルカラ、失禮デアリマスガ此席ヨリ委員長ニ御尋致シタイト思ヒマス
〔聽エナイ〕登壇々々ト呼ヒ其他發言スル者多シ
○議長(森田茂君) 靜肅ニ願ヒマス
○岡田溫君(續) 私ノ質問ハ日本銀行特別融通ニ依ル損失補償法案ノ委員會ノ修正案ノ、希望條件ノ第四ニ付テ御伺スルノデアリマス、此第四ヲ見マス、信用組合中員外ノ預金ヲ預テ居ルモノハ、中央金庫ヲシテ特別ノ融通ヲシテ云々ト云フ希望ガアリマスガ……

〔分ラヌ〕分ラヌ〔登壇々々ト呼フ者アリ〕
○議長(森田茂君) 岡田君登壇ヲ求メマス
〔岡田溫君登壇〕
○岡田溫君 第四デアリマスガ、其第一ノ御尋ハ員外預金ト云フノハ、組合員ノ家族ノ預金及役場ノ公金ナドヲ預テ居ルノ員外預金ト看做スノカ、看做サヌノデアアルカト云フコトデアリマス、ソレカラ第二ニハ之ヲ伺ヒマス、信用組合モ銀行ノヤウナ金融ヲシテ居ル關係上、今度ノ問題ト相似タ取付等モ起ル、併シ補償法デアドウスルコトモ出來ナイラシイカラ、産業組合中中央金庫ヲ通ジテサウ云フコトニ出會タナラバ、救済スルヤウニト云フコトノ希望ノヤウデアリマス、若シ此補償法ニ割込ムト云フノナラ、又其割込ノ爲ニ員外ノ預金ト云フコトノアルガ爲ニ、斯ル事デモ言フナラバ、是ガ別ニナルノモ宜イガ、既ニ此四ト云フモノハ、三マデトハ關係ノナイ他ノ方法デスル希望デアリマス、既ニ日本銀行ヲシテ運用ヲサスト云フノデナクシテ、他ノ方法ニ依テ居ルト云フノナラバ、一般ノ産業組合ヲ扱テ宜イ筈ナンデアリマス、何モ員外ノ預金ヲ預テ居ルモノニ限テト云フヤウニ扱フ必要ハナシ、理由モ無イヤウニ思ハレマス、委員會デハ大分此問題デ御議論ノ御研究ガアタコトヲ承テ居リマスガ、吾々トシテ多大ナ疑問ヲ起スノハ、何トカシテ組合ノ一部分ニデモ割込シテ宜イガ、ソレトハ無關係ニ、唯精神上ノ連續ニ依テ、組合ニ斯ウシテ吳レト云フ希望ヲ出ス場合ニ於テ、衆議院ノ希望トシテハ、一般銀行ノコトハ少シモ見エナイ、政府ニ其意見アルトカ何トカト云フコトハ聞キマスレドモ、ソレハ別ノ事デアリマシテ、個々ノ決議ノ精神トシテ現ハスト云フコトニ見エナイト云フコトハ、非常ナル誤解ガ起ラウカト思フノデアリマス、ドウ云フ譯デ特別ニ扱フ、補償法トハ違タ方法デアリマス、唯、定款ニ一條項ニアルコトノ爲ニ、斯ウ云フ風ニ別ニ員外ノ預金ヲ扱テ居ルモノノミヲ特別扱ニスルヤウニ見エラユウニ爲シタリト云フノハ、ドウ云フ譯デアリマスセウカ、此二點ヲ御伺シタイノデアリマス(拍手)

○町田忠治君 簡單デアリマスカラ此席カラ……
○議長(森田茂君) 宜シウゴザイマス
○町田忠治君 岡田君ノ御質問ハ實ハ私ニハ十分聽取レヌデアリマシタガ、平生ノ岡田君ノ信用組合ニ對スル御議論ノ御主張カラ察シマス、信用組合ニ對シマシテ、特別銀行同様適用スルコト云フ御質問デアリマスガ、左様デアリマセヌカ、左様デアリマスカ

〔議場騒然〕
○議長(森田茂君) 靜肅ニ願ヒマス
○岡田溫君 サウ云フ意味ト少シ違フノデアリマス、中央金庫ヲシテ機宜ノ處置ヲ執ラスナラバ、總テノ産業組合ニモ執ラスヤウナ風ニト云フ希望ヲ附ケタ方ガ穩當デアラウ、適當デアラウト斯ウ思フノニ、ソレガ無イト云フノハドウ云フ譯デアアルカト云フコトデアリマス

○町田忠治君 我ハ岡田君ノ御質問ノ全部ニ付テハドウカ知ラヌガ、此第四條ヲ斯様ニ書イタ趣意ハ御答辨致シマス、私共ハ相成ベクハ、信用組合ハ組合員自身ノ相互ノ助力ニ依テ成タケ政府ノ援助ヲ求メズ、組合自ラノ力ニ依テ發達スルコトヲ信用組合ノ理想トシテ居ルノデアリマス、只今ノ法律ハ組合員以外ニ一般公衆ノ預金ヲモ之ヲ取扱テ、一種ノ庶民銀行同様ノ働ヲ致シテ居リマスルガ故ニ、斯様ナモノニ對シテハ、政府ハ番ニ預金部カラノ低利資金ニ依リ中央金庫ヲシテ貸出シムルノミナラズ、更ニ其點ヲ考慮シテ相當ノ處置ヲ執ル、場合ニ依レバ此法案以外ニデモ、政府ガ相當ノ補助ヲスル方法モ出來ルモノト思ヒマス、其方法ハ政府ノ責任ト致シ、吾々ハ一種ノ庶民銀行ト同様ノ機關ト見ルベク、公衆ノ預金ニ對シテハ、政府ハ唯、低利資金ノミナラズ、他ニ相當考慮ヲ致セト云フ希望ヲ述ベタノデアリマス

○岡田溫君 モウ一度、委員會ハ……
〔分ラヌ〕分ラヌト呼ヒ議場騒然
○議長(森田茂君) 田淵豐吉君
〔議場騒然〕
○議長(森田茂君) 靜肅ニ願ヒマス
〔田淵豐吉君登壇〕
○田淵豐吉君 我ハ金融ノコトハ非常ニ縁ノ遠イ方デアリマスガ、委員會ニモ出ラレズ、此處デ委員長ノ報告ニ付テ尙ホ聞キタイコトガアリマスカラ、ドウカ的確ニ言ウテ戴キタイ、極ク素人デスカラ、諸君ハ御笑ニナル點ガアルデセウガ、私ハ聞キタイ、一體此財源ヲドウデセウガ、私ハ聞キタイマシタヤウデスガ、私ハ此處ニ居ナカッタデスガ、前ニ議論ガアッタノデスガ、此財源ヲデスナ、何所カラ取ッテ、ドウスルト云フ見込ガナクシテ、唯、必要タカラヤッタト云フノデスガ、其財源ノ點ヲ何所カラ取ッテ、ドウシテヤルト云フ大體腹案ガ斯ウダレガドウ云フヤウニ向イテ行クカ、此結果ト云フモノハ、ドウ云フヤウニ向イテ行クカト云フコト、天氣豫報ハ上海ニ起タモノガ日本ヘ來テ、此處デ梅雨ニナツテ、揚子江ノモノガ日本ヘ落タルト云フコトガ、チヤント分ッテ居ル、故ニ是ガドウ云フヤウナ方向ニ、何所カラドウ取ッテ、ドウ向イテ行

タカ、一般租税カラ取ルカ、又ハドウ云フヤウナ方法取ルカ、六三五ノ消費稅カラ取ルカ、三六五ノ直接稅カラ取ルテ行クカ、重大問題ハ此處ニ潜シテ居ル、此處ニ金塊ガヒョコト出タラ、六億ガ百億デモ譯ハナシ問題デアルガ、其財源ニ付テハ、單ニ是迄ニ言ウタ事ダケデナクシテ、ドウ云フヤウナ的確ナ法則カラ之ヲ取ルト云フノデアアルカト云フコトヲ、政府及委員會ニ御質問ニナツカドウカ、之ヲ的確ニシナケレバ、國民ノ負擔ノ均衡負擔ノ公平ト云フコトハ出來ナイト思フカラ、此點ヲ聞キタイト思フノデアリマス(和製ソクラテス)ト呼ブ者アリ)ソレカラ第二ニ、是ハ言ウテ居ルカ知レヌ、又私ノ間違ヒカ知レマセヌガ、休業銀行ヲ含ムトカ、含マヌトカ言フテ居ル、政府ノ方ハ含マヌト云フテ居ル、野黨ノ方デハ含ムト云フテ居ル、今之ヲ見マスルト「現ニ」ト云フ、此現上云フコトハ私ニハチヨト分リ難イガ、休業銀行ヲ含ムト云フコトニナツテ居ルカ、ナツテ居ラヌカ、大分議論ハアツタヤウデアリマスガ、此事ヲ此處デ明ニシテ戴キタイト思フ、私が聽漏シタノナラバ、ソレデ宜シウゴザイマス、ソレカラ私ハ諄イカ知レマセヌガ、銀行ノ預金ノ總額ハモウ何過モ聽イタヤウデアリマスガハキリシナイ、今少シ曖昧デアル、モットハキリ覺エテ置ケルヤウニ聽イテ置キタイ、總額ノ數ヲ銀行ノ數ト、休業銀行ノ數ト、ソレカラ人數ガ幾人、預金ヲシテ居ル人數ヲ聽イテ置キタイ、唯、數百萬人トカ數十萬人トカ云フテ居ルガ、サウ云フヤウナコトデ此豫算ノ賛否ヲ決スルコトハ出來ナイ、全體デ幾ラデアルト云フコトヲハキリ聽イテ置キタイ、ソレカラ次ニ或ハ百圓以上ノモノガ幾ラアル、千圓ガ幾ラアリ、萬圓ガ幾ラアル、サウ云フ正確ナル金額ノ調査ヲ委員會ハ爲スツカ、或ハ爲サラナカッタコト云フコトヲ聞キタイ、ソレカラ人數ダケガ分ツテモ、其金額、又之ニ充テル財源、サウ云フコトガ分テ居ラヌデハ、吾等審議スル上ニ於テ非常ニ困ル、斯ウ云フコトヲ除ケタナラバ、他ノ事ヲ幾ラヤッテ

モ何ニモナラナイト私ハ思フ、サウ云フコトハ問題ニナツテ居ナカッタカ、ナツテ居タカ、ソレカラ是ハ言ハナカッタカ知レマセヌガ、或ハ言フタカモ知レヌ、財界ノ安定ト云フ商工業ニ關係ヲ持テ居ルガ、此農村ノ振興、農村ト云フモノハ此問題ト如何ナル所ノ關係ニ立テ居ルモノデアアルカ、農村振興ハ如何ナル關係ニ立テ居ルカ、社會政策ト如何ナル關係ニ立テ居ルカ、此點ニ付テノ明カナル所「デベード」ガアリ、討論ガアツタカ、ナカッタコト云フコトヲ聞キタイ、農村振興ヲ一方ニヤツテモ、一方ニ取テシマフト云フヤウナ、農村振興ガ現内閣ノ手デ行ハレルコトニナツテハ、非常ニ工合ガ惡イ、又一方ニ社會政策ヲ行テ居ルガ、一方ニ資本の社會政策ガ行ハレテ居ル、此點ニ重大問題ガ潜シテ居ルト思フカラ、之ヲ明ニ御報告ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ五億ノ負擔ニ歸スルノデナイト云フガ、ドウ云フヤウナ點カラ、五億ノ負擔ニ歸スルノデナイト云フコトヲ、モウ少シ的確ニ言フテ戴キタイト思フ、ソレカラ紙幣ノ増大ト云フコトニナツテ居リマスガ、ドウ云フヤウニ是ガ制限外發行ニナリ、或ハ金解禁アタリトドウ云フ關係ヲ持テ是ガ送レルカ、送レヌカト云フ點ニ付テ爲替ノ點、其他ノ點ニ付テノ議論ガアリマスレバ、之ヲ聞キタイト思フノデアリマス、以上

〔「無用々々」ト呼フ者アリ〕
○議長(森田茂君) 答辯ハアリマセヌカ——
答辯ガ無イト認メマス
○田淵豐吉君 議長々々
○議長(森田茂君) 答辯ハアリマセヌカ——
答辯ハアリマセヌカ、先ヅ日本銀行特別融通及損失補償法案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長(森田茂君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ、次ニ臺灣銀行金融機關ニ對スル資金融通ニ關スル法律案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮

リ致シマス、御異議ガアリマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長(森田茂君) 御異議ガアリマセヌカヲ採決致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ賛成ノ諸君ノ御起立ヲ求メマス
〔賛成者起立〕
○議長(森田茂君) 多數ト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ、是ニテ兩案トモ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○井本常作君 直ニ兩案ヲ一括シテ其第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス
○議長(森田茂君) 井本君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長(森田茂君) 御異議ナシト認メマス、直ニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
日本銀行特別融通及損失補償法案 第二讀會
臺灣ノ金融機關ニ對スル資金融通ニ關スル法律案 第二讀會
○議長(森田茂君) 第一案ニ對シマシテハ、委員長報告ハ修正デアリマス、尙又湯淺凡平君及武藤山治君外一名ヨリ修正案ガ提出サレテ居リマス、又第二案ニ對シテハ武藤山治君外一名ヨリ修正案ガ提出サレテ居リマス、順次其趣旨辯明ヲ許シマス、湯淺凡平君
日本銀行特別融通及損失補償法案ニ對スル修正案
右成規ニ據リ提出候也
昭和二年五月七日
提出者 湯淺 凡平
日本銀行特別融通及損失補償法案中左ノ修正案
第一條中「其ノ預金(定期積金ヲ含ム)」ノ下ニ「其ノ他」ヲ、「認ムルトキハ」ノ下ニ「第四條ノ契約ニ因リ」ヲ加フ
第二條中「一年」ヲ「六箇月」ニ改ム
第三條中「十年」ヲ「五年」ニ改ム
第四條 本法ニ依リ特別融通ヲ受ケムトスル者ハ政府ニ對シ特別融通金額ノ百

分ノ七ノ割合ニ於ケル保證料ヲ支拂フコトヲ要ス
本法ニ依リ特別融通ヲ受ケタル者其ノ融通ヲ受ケタル日ヨリ五年以内ニ特別融通金額ノ全部又ハ一部ノ辨償ヲ爲シタルトキハ日割計算ヲ以テ前項ノ保證料ノ拂戻ヲ受ケルコトヲ得
政府ハ本法ニ依リ特別融通ニ因リテ日本銀行ガ損失ヲ受ケタルトキハ同行ニ對シ同行ガ融通ヲ爲シタル金額ノ一割ヲ限リ其ノ損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得
前項ノ損失ヲ決定スル標準ハ大藏大臣之ヲ定ム
第六條 第四條ノ保證料ノ收入其ノ拂戻並政府ノ負擔スヘキ損失補償ノ支拂ハ一般會計ト區別シテ之ヲ整理ス
第七條 前條ノ特別會計ノ收入金ハ日本銀行ヲシテ之ヲ運用セシムルコトヲ得
第八條ヲ削ル
〔湯淺凡平君登壇〕
○湯淺凡平君 第一案ニ對シテ修正ヲ試ミント欲スル者デアリマス、但シ其修正ノ箇條、是ハ印刷ニ付シテ既ニ諸君ノ御手許ニ配付シテアリマスカラ、其本文ニ付テハ申上ダマセヌ、唯、此修正ヲ爲シマスノ理由ヲ聊カ述ベテ見タイ思フ者デアリマス、本案ハ約百二十億ニ垂ントスル所ノ預金ニ對シテ、其内五十億萬圓ヲ日本銀行ヲシテ融通セシメ、ソレニ依テ生ズベキ損失約五億圓ヲ、國家ニ於テ負擔ヲスルト云フ案デアル、日本開關以來恐クハ斯ノ如キ龐大ナル所ノ數字ガ實際ノ問題トシテ取扱ハレマシタノハ初メト致スノデアリマス、而シテ國民全體ノ負擔ニ依テ、幾ニハ震災手形ニ依テ一億七百萬圓、今又此法案ニ依テ五億圓、更ニ臺灣金融ニ關シテ二億萬圓、合セテ九億七百萬圓ト云フガ如キ巨額ノ負擔ヲ、今日ノ一般ノ國民ニ課セント欲スル所ノ問題デアルガ故ニ、極メテ重大ナル所ノ問題デアルト私ハ考ヘル、隨テ其審議ハ最モ慎重ニ致サナケレバ相成ラナイ、

諸君、本案ハ要スルニ預金ノ爲シタル所ノ其預金者ヲ救済スルノ目的デアリマス、政府ノ説明ニ依リマシテモ、銀行ヲ救済スルニ非ズシテ、預金者ヲ救済スルノ目的デアルト申サレテ居リマス、併ナガラ今日我國ノ國民ノ預金ヲ爲シテ居ル所ノ者ト、預金ヲ爲シ能ハザル所ノ者トヲ分類シマスレバ、預金ヲ爲シタル所ノ者ハ多少トモ生活ニ餘裕ナル所ノ國民デアリマス、而シテ其數ハ預金ヲ爲シ能ハザル所ノ國民ニ比較スレバ、極メテ少數デアル、其少數ノ預金ヲ爲シタル所ノ國民ノ今日ノ困難ノ預金ヲ爲シ能ハザル所ノ者ニ依テ救済スル側ノ云フデアリマスガ、救済ヲサレル側ノ者ガ、却テ救済ヲ爲サネバナラヌト云フガ如キ實ニ世相ノ變動トハ申シナガラ、理論カラ申シマスレバ極メテ矛盾ナル所ノ法案デアルデアリマス、尤モ資産ヲ有シテ居ル所ノ銀行、預金ヲ有シテ居ル所ノ、生活ニ餘裕ナル者、之ニ對シテ今日ノ生活ニモ困難ヲ致シ、寧ロ救済ヲサレバナラナイ階級ノ者マデガ、之ヲ救済スル所ノ責任ヲ分擔シナケレバナラヌカト云フコトニ付テハ、其間ニ明確ナル理由ガ無クテハナラヌ答デアリマス、故ニ其理由ヲ政府ニ尋ネマシタ所ガ、大藏大臣ノ説明ニ依リマスレバ、本案ニ依テ預金ニ關係無キ者ガ、相當ノ責任ヲ負フコトハ、極メテ道理ニ反スルガ如キ感アリト雖モ、而モ世ノ中ハ資金アツテコソ事業ガアルメデ、事業アツテ始メテ生活ガアルメデアル、ソレ故ニ預金者ヲ救済スルコトハ、即チ資金ヲ集メル資金ヲ救済スルノデアアル、資金ヲ救済スルコトハ事業ヲ救済スルノデアアル、隨テ其事業ニ依テ衣食スル所ノ無產者ヲモ救済スルノデアアルト云フ御答辯ヲ得マシタ、洵ニ大藏大臣ノ遺憾ナキ資本主義ノ御發揮振ニ私共ハ一驚ヲ喫シタ次第デアリマス、而シテ是ト同時ニ現内閣ノ社會觀——社會ニ對スル所ノ觀念ノ何レノ點ニ在ルヤヲ、吾々ハ窺フコトガ出來タノデアリマス、若シ左様ナル觀念ヨリ致シテ、今日ノ國民生活ノ問題ヲ處理サレルト云フコトニナリ

マスナラバ、其結果如何相成ルカト云フコトヲ、私共ハ憂ヘザルヲ得ナイノデアリマス、併ナガラ今日左様ナコトヲ論議スル場合デアリマセヌカラ、兎ニ角政府ハ左様ナル解釋ノ下ニ、本案ヲ提出致シタリト云フコトヲ吾々ハ承知致シタ、併シ私共ハ斯様ナ見地カラ此法案ヲ取扱フコト云フコトハ、極メテ我國ノ國民思想ノ上ニ於キマシテ、由々シキ一大事デアルト考ヘルノデアリマス、私共ハ決シテ此今日ノ少數ノ預金者ヲ救済スルコト云フ義務ハ、一般國民ト致シテハ持テ居リマセヌ、況ヤ一部ノ銀行ヲ救済スルコト云フガ如キ責任ハ斷ジテアリマセヌ、唯、吾々ガ此法案ヲ修正致シテモ、通過ヲ圖ラント欲スル所以ノモノハ、其處ニ重大ナル理由ガアル、理由トハ何デアルカ、財界ノ安定デアアル、財界ノ安定ヲ致ス、財界ノ安定ハ即チ國民一般ノ生活ニ關係ヲ持、コトデアリマスカラ、財界ノ安定スルガ爲ニハ、吾々ハ相當ノ努力ヲ爲サナケレバナラヌ、又相當ノ犧牲ヲ拂ハナケレバナラヌ、吾々ガ本案ノ通過ヲ圖ル所以ノモノハ此理由ニ基クノデアアル、既ニ財界ノ安定ヲ期スルコト云フ見地カラ出發致シマスレバ、此法案ノ效果ハ最モ公平常デナケレバナラヌ、此公平ノ點カラ申シマスレバ、單リ營業ヲシテ居ル所ノ銀行ノ預金者ダケヲ救済ヲ致シテ、閉店ヲシテ居ル所ノ銀行ノ預金者ハ、其儘ニ見殺ニスルコト云フガ如キコトハ、不公平ノ甚シキモノデアルト思フノデアリマス、若シ財界ノ安定ヲ圖ルナラバ、休業ヲシテ居ル所ノ銀行ノ預金者ヨリハ、寧ロ閉店ヲシテ居ル所ノ銀行ノ預金者ヲ、先以テ救済ヲシナケレバ意味ヲナサナイト私共ハ考ヘル、殊ニ既ニ斯ノ如ク致シテ、公平ニ總テノ預金者ヲ救済スルコト云フナラバ、救済サル、所ノ者ハ、救済スル所ノ者ニ對シテ相當ノ義務ヲ有シテ居ルコトハ申スマデモアリマセヌ、隨テ此法案ニ依テ預金者ガ救済ノ恩惠ヲ受クルナラバ、ソレニ對シテ何等カノ義務ヲ盡サナケレバナラナイ、即チ吾々ガ此特別融通ヲ爲ス上ニ於テハ、ソレニ相當ノ保證料、即チ吾々國

民ノ預金者ニ代テ、日本銀行ニ對シテ債務ノ補償ヲ爲スノデアリマスルガ故ニ、之ニ對シテ保證料ヲ拂フハ當然ノ義務デアアルト考ヘルノデアリマス、國家ガ公債ヲ募集致シマシテモ、其國家ノ公債ヲ募集スル時ニ當テモ、相當ノ手續料ヲ現ニ拂フテ居ルノデアアル、憐ムベキ今日ノ無產者ニ對シテ、是ダケノ義務ヲ負擔セシメテ、何等ノ手續料ヲ拂ハナイト云フ譯ノモノデハナカラウト私共ハ思フ、更ニ吾々ガ補償ヲ爲シタル其結果ト致シテ、國民ニ對シテ損失ヲ負擔セシムルコト云フコトアルベキモノデハアリマセヌ、併ナガラ財界安定ノ爲ニハ、相當ノ犧牲ヲ拂ハナケレバナリマセヌカラ、是ガ爲ニ一般國民モ亦相當ノ犧牲ヲ拂ハナケレバナリマセヌガ、其犧牲ハ此法案ノ爲ニ非常ナル所ノ通貨ノ膨脹ヲ來シ、通貨ノ膨脹ハ物價ノ騰貴ヲ招來シ、物價ノ騰貴ハ國民生活ノ脅威ヲ促スト云フコトハ當然デアアル、斯ノ如キ恐ルベキ犧牲ヲ吾々ハ忍ビテ居ル以上ハ、此上ニ物質上、金錢上ノ負擔マデモ此國民ニ課スルコト云フコトハ、實ニ慘酷極マル所ノ處置ト謂ハンケレバ相成ラヌ、ソレ故ニ吾々ハ此融通、即チ補償ニ依リマシテ、ソレガ爲ニ一錢ノ損失ヲモ負擔スベキモノデハ斷ジテナイト、思フノデアリマス、更ニ又全體斯ノ如キ法律ヲ制定スル以上ハ、吾々ハ寧ロ之ニ依テ非常ナル所ノ利益ヲ求メルコト云フ觀念ヨリハ、主トシテ之ニ依テ生ズル所ノ弊害ヲ防止スルコト云フ立場ニ立タナケレバナラヌコト、思フノデアリマス、由來之ニ類スル所ノ法律ハ、幾度カ制定サレマシタケレドモ、其法律ノ濫用、惡用ノ結果、國民ニ非常ナル所ノ迷惑ヲ被ムラシメタ所ノ事例ハ一二ニシテ足リマセヌ、元來特殊銀行ノ制度其モノガソレデアリマス、是迄此特殊銀行ノアルガ爲ニ、吾々ハ如何ナル迷惑ヲ被タノデアリマセウ、更ニ又アノ震災手形ノ問題モソレデアリマス、斯様ナ次第デアリマスルカラ、苟モ五億圓乃至七億圓ト云フガ如キ、巨額ノ損失ヲ負擔シナケレバナラヌト云フガ如キ此法案ヲ制定スルニ當

リマシテハ、如何ニスレバ吾々ハ此法律ニ依テ、弊害ヲ被ムルコトヲ防止シ得ベキカト云フコトヲ先以テ考慮致サナケレバ相成ラヌ、ソレ故ニ吾々ハ本案ニ對シ、貸付ノ年限ヲ原案ニ一箇年トアリマスノヲ、之ヲ縮メテ六箇月ト爲シ、償還年限ノ十箇年トアリマスノヲ、短縮致シテ五箇年ト致シマシタノモ是ガ爲デアアル、即チ此法律ノ運用サルコト長ケレバ長キ程、國民ノ負擔ガソレダケ長ク殘リ譯デアリマスカラ、出來ルダケ之ヲ短クシタイト云フノガ吾々ノ修正ノ本意デアリマス、而シテ此保證料ノ問題デアリマス、如何ニシテ保證料ヲ取ルコトガ出來ルカ、假ニ政府ノ説明スルガ如ク、五十億ノ特別融通ヲ爲スト致シマスレバ、之ニ對シテ吾々ハ百分ノ七十ノ手續料ヲ先以テ天引ヲ致ス、然ラバ五十億圓ニ對シ、五七ノ三億五千萬圓ト云フ即チ損失補償ノ基金ヲ積立テルコトガ出來マス、而シテ此三億五千萬圓ノ基金ヲ、融通シタル五箇年ノ間、特別會計ニ依テ利殖致シマスレバ、元利ニ於テ丁度五億圓位ノ金額ニ達スルコトハ、誠ニ易イコトデアリマス、之ヲ基金ト致シテ置キマスナラバ——尙ホ詳シク申シマスレバ（簡單々々）ト呼フ者アリ、簡單ニハ參リマセヌ、此大豫算ヲ——諸君、今日市中一般ノ金利ハ一箇年八分ニ廻リテ、年六分ニ利息ヲ見積ルコトハ易イコトデアリマス、斯ノ如クナリマスレバ、茲ニ二分ノ相違ガアリマス、即チ一般ノ銀行ガ特別融通ヲ受ケマシテ、五分乃至六分ノ利子ガ借入レテ、而シテ八分ニ廻シマスレバ、茲ニ二分ノ利益ヲ存スルコトガ出來ル、之ヲ五箇年ニ見積リマスレバ一割ノ利益ガアル、一割ノ利益ガアルノデアアルカラ、其中カラ七分ノ保證手續料ヲ拂ヒマシテモ、借リタ方ニ於テハ決シテ損失ハアリマセヌ、併ナガ天引ヲ致シマシテ、而シテ之ヲ最後ノ五箇年迄借入レル者モ、一年デ以テ償還スル者モ同様ニスルコト云フ譯ニ參リマセヌカラ、早ク返シタル者ニ割ニ應ジテ、前ニ天引シタル所ノ、其保證料ヲ割戻

シヨスルト云フコトニ致シマスレバ、借ル方ノ人モ損ヲスルコトナク、而シテ是ガ爲ニ早ク特別融通資金ノ回收ヲ圖ルコトガ出來ルト云フ便宜モアルノデアリマス、要スルニ當然支拂テ差支ナイ、又拂フダケノ能力ノアル此保證料ト云フモノヲ積立テ置キマスレバ、之ニ依テ万一融通シタル所ノ金ノ回收ガ出來マセヌデモ、國民ハ決シテ迷惑スルコトハナイノデアル、精確ナ方法ニ依テヤリタイト云フノガ此精神デアリマス、サウシテ今一點ハ、損失ノ限度ヲ原案ニ依リマスレバ約五億圓ト定メテアル——五億圓以內ト定メテアリマス、併ナガラ若シ五十億圓ノ融通ヲ爲スナラバ、其ノ割ノ五億圓ハ恐クハ——約一割ハ或ハ損失ニ歸スルデハナイカト云フ原案ノ趣旨ト心得テ居リマス、然ラバ初メヨリ五億圓ト云フ金額ニ限ラズシテ、寧ろ融通資金ノ損失ノ一割ト規定ヲ致シマシタ方ガ當デナカラウカト思フ、若シ斯様ニ規定ヲ致シマセヌト、五十億圓ニ非ズシテ、幸ニ致シテ今日ノ融通資金ガ十億圓若クハ二十億圓圖デ濟ムカモ知レナイ、二十億圓圖デ濟ムナラバ一億圓乃至二億圓ノ損失ニ止ルデアラウ、而モ五億圓以內ト書イテアル以上ハ、日本銀行ハ是ガ爲ニ或ハ放漫ナル所ノ貸付ヲ爲サントハ請合ハレナイ、日本銀行ノ當事者ハ左様ナ事ハ爲シマスマイケレドモ、是迄ノ經驗ニ依テ見マス、得テ時ノ官憲ト關係ノアル所ノ特殊銀行ハ、斯ノ如キ所謂營業以外ノ壓迫ニ餘儀ナクサレテ、種々ナル所ノ弊害ヲ惹起ス事ガアリマスカラ、成ベク此損失補償ノ金額ハ實際ニ差支ナイ程度ニマデ引下ゲテ置クト云フコトガ相當デアリマスカラ、此故ニ吾々ハ金額ヲ五億圓ト限ラズシテ、特ニ損失ノ一割ト之ヲ規定スルコトヲ相當ト考ヘルノデアリマス、サウシテ是等ノ基金ノ會計ヲ如何ニスルカ、收支ヲ如何ニスルカ、特別會計ノ組織ヲ確立致シテ、之ニ依テ此資金ノ運用ヲ爲ス、場合ニ依リマシテハ、之ヲ日本銀行ノ運用ニ委セルト云フノモ一ツノ方法デアラウト思フ、斯ノ如ク致シマシテ

一般會計ト區別シテ、之ヲ特別會計ノ計算ニ移シ、サウシテ此融通ヲ圖リマス、而モ之ニ依テ不幸ニ致シマシテ、五十億圓ガ六十億圓ニナリマシテモ、七十億圓ニナリマシテモ、其損失ハ一割マデハ天引ヲ致シテ保證ガ附ケテアリマスカラ、何等國民ノ迷惑ヲスル事ハアリマセヌ、斯ノ如クニ致シテ、少シモ此損失ヲ國民ニ轉嫁セシメズ、而シテ融通ヲ受ケル所ノモノハ開業シテ居ル銀行デアルト、開業ヲセザル所ノ銀行デアルトヲ問ハズ、苟モ預金ノ引出準備ノ爲ニハ、總テノモノヲ此法律ニ依テ救済スルニ比較致シマシテ、吾々ノ修正案ノ方ガ遙ニ優テ居ルト確信ヲ致ス者デアリマス、而シテ斯クナリマスレバ、吾々ハ決シテ之ヲ臺灣ノ内地ト區別スル必要ハアリマセヌ、臺灣ノ銀行モ内地ノ銀行モ、一樣ニ此法律ニ依リ、此方法ニ依テ救済シテ差支ナイ、殊ニ只今ノ特ニ臺灣ニ關スル所ノ金融ノ此法律ハ、是ハ所謂日本銀行ノ補償ハ内地ノ銀行ヲ救済スルトハ、遙ニ違テ居ルコトハ、御承知ノ通り、臺灣ノ金融機關ヲ救済スルト申シマスルケレドモ、事實ハ臺灣銀行ノ救済アルコトハ申ス迄モナイ、而モ此臺灣銀行ハ目下其整理ニ付テ調査ノ進行中デアリマス、果シテ此銀行ハ救ハレルモノデアルカ、救ハレナイモノカ分ラナイ、斯様ナ銀行ニ對シテ、二億圓ト云フ巨額ノ金ヲ投ズルト云フコトハ、是ヨリ外ニ方法ガナケラネバ知ラヌ事、只今申ス吾々ノ修正案ニ依テ、内地ト臺灣トヲ區別スルコトナク、同じク資格ノ供給ヲ致シマスルナラバ、極メテ公平ニ其救済ノ目的ヲ達シ得ラレマス、殊ニ又臺灣ノ、事實ニ於テ臺灣銀行ヲ救済スルガ爲ニ、二億圓ノ融通ヲ爲シテ、其二億圓全部ヲ損失補償トシテ國家ガ負擔スルコトニナリマシテモ、是ハ貸付ケルニアラズシテ、殆ど贈與スルト少シモ變ラナイト思フ、斯様ナル所ノ危險ナル、斯様ナル所ノ無謀ナル方法ヲ執ラズトモ、必ズ今日ノ臺灣銀行ニ關スル所ノ對外信用ヲ維持シ、臺灣ニ於ケル所ノ預金者

ヲ救済ヲ致シマシテ、由テ以テ臺灣ノ統治ヲ維持スルコトハ、決シテ困難デナカラウト思フノデアル、要スルニ世間ノ議論ガ唯、此財界ノ安定ヲ圖ルガ爲ニ預金者ヲ救済スル、銀行ヲ救済スル爲ニ金ヲ貸ス、金ヲ融通スルト云フ事ニ付テノ議論ハ、相當承テ居リマスケレドモ、此金ヲ貸シタガ爲ニ損失ノ負擔ニ任ジナケレバナラヌト云フ一般國民ノ立場ヨリ行ハレタル所ノ議論ノ極メテ薄弱ナ事ヲ私ハ遺憾トセザルヲ得ナイノデアル(拍手)諸君、今日ノ我ガ國民經濟ノ大體ヲ考ヘテ御覽ナサイ、今日ノ巨額ナル苛歛請求、非常ナル所ノ租稅ノ重キガ上ニ、尙ホ十億ニ近イ今日ノ損失ノ負擔ガ實際ニ吾々ノ頭ニ懸ルト云フコトニナッテ、吾々ノ生活ハ如何ナリマスカ、之ヲ考ヘテ見マスレバ、吾々ハ救済サレル者ノ立場ハ、目下焦眉ノ問題トシテ大ニ考慮ヲ致サナケレバナリマセヌケレドモ、同時ニ之ヲ救済スル所ノ犧牲トナル一般國民、預金ナドト云フ事ハ夢ニモ考ヘテ居ラナイ所ノ多數ノ無產者ノ爲ニモ、吾々ハ寧ろ進ンデ一層考慮スルコトガ必要デアラウト思フノデアリマス、是ガ即チ私共此修正案ヲ出シマシタル所ノ根本ノ理由デアリマスルガ故ニ、諸君ノ態度ハ既ニ決定致シテ居ルトハ云ヒナガラ、決シテ今日ノ内閣ノ面目ニアラズ、今ノ預金者ノ問題ニアラズ、今ノ銀行ノ問題ニアラズシテ、廣ク六千万國民ノ立場ヲ御考ヘ下サイマシテ、願クハ吾々ノ修正案ニ御賛成アラント希望スル次第デアリマス(拍手)

○議長(森田茂君) 森田金藏君

日本銀行特別融通及損失補償法案ニ對スル修正案
右成規ニ據リ提出候也
昭和二年五月七日
提出者 武藤 山治
外一名

日本銀行特別融通及損失補償法案中左ノ通修正ス
第一條中「其ノ預金」ノ下「(定期積金ヲ含

ム)ヲ(定期積金ヲ含ミ兩建ノ預金ヲ含マス)ニ改ム
第二條 日本銀行ガ前條ノ特別融通ノ爲ニスル手形割引ノ歩合ハ割引最初ノ三月間ハ日本銀行國債保證手形割引歩合ト同一トシ以後ハ日歩二錢二厘乃至二錢七厘トス
日本銀行ハ前項ノ割引料ト公定割引料トノ差額ヲ國庫ニ納付スルヲ要ス
第二條ヲ第三條ニ改メ同條中「一年」ヲ「三月」ニ改ム
第三條ヲ第四條ニ改メ同條中「十年」ヲ「三年」ニ改ム
第四條ヲ第五條ニ改メ同條第二項ヲ左ノ如ク改ム
前項ノ損失ヲ決定スル基準ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第五條ヲ第六條ニ改メ以下順次繰下ゲ第十條 第一條ニ依リ資金ノ融通ヲ受ケタル銀行ノ役員ニシテ其ノ資金ヲ目的以外ニ使用シタルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

臺灣ノ金融機關ニ對スル資金融通ニ關スル法律案ニ對スル修正案
右成規ニ據リ提出候也
昭和二年五月七日
提出者 武藤 山治
外一名

臺灣ノ金融機關ニ對スル資金融通ニ關スル法律案中左ノ通修正ス
第一條中「金融機關ニ對シ」ノ下ニ「預金支拂準備資金トシテ」ヲ加フ
第二條中「一年」ヲ「三月」ニ改ム
第三條中「二億圓」ヲ「一億二千六百六十萬圓」ニ改ム
第四條中「第五條」ヲ「第六條」ニ改ム
第五條中「第三條、第四條第二項及第六條乃至第八條」ヲ「第四條、第五條第二項及第七條乃至第九條」ニ改ム
第六條 第一條ニ依リ資金ノ融通ヲ受ケタル金融機關ノ當事者ニシテ其ノ資金ヲ目的以外ニ使用シタルトキハ五年以

下ノ總役ニ處ス

〔森田金藏君登壇〕

○森田金藏君 昨今議院トナッテ居リマスル二法案ニ付テ、私共ノ修正意見ヲ皆様ノ前ニ發表シタイト思フノデアリマス、此二案ニ付キマシテハ、我が實業同志會トシマシテハ慎重審議、如何ニシテラバ宜シイカト云フコトニ付テ種々考ヘタノデアリマス、就キマシテハ私共ハ此二案ニ付テハ總議會上ダタイ事ガアリマス、ケレドモ大體ニ於テハ皆様ガ既ニ御承知デアリマス、故ニ私ハ此條項ニ付テ極ク簡單ニ修正ノ要領ヲ申上ダタイト思ヒマス、ドウカ御清聴ヲ願ヒマス、日本銀行特別融通損失補償法案ニ對シマスル私共ノ修正ハ、日本銀行特別融通損失補償法案中ノ第一條ニトシテ御比較ヲ願ヒタイノデアリマスガ、原案ノ第一條ニ「日本銀行ハ銀行ヨリ其ノ預金」其下ニ括弧ガアリマシテ「定期積金ヲ含ム」トアリマス下ニ、斯ウ云フ事ヲ加ヘタイノデアリマス、定期積金ヲ含ムノ下ニ「定期積金ヲ含ム」兩建ノ預金ヲ含ム」ト致シマス、此「兩建ノ預金ヲ含ム」ト私共ガ修正ヲ加ヘマシタ譯ハ、一ツノ銀行ニ一方デ預金シテ居テ、一方デ其銀行カラ借りテ居ル人ガアリマシタ場合ニ、借りテ居ル方ハ擔イテ、預金ノ方ダケヲ出スト云フ虞ガアリマスカラ、此兩建ト云フ文字ヲ附加ヘタノデアリマス、ソレカラ第二條トシテ新ニ一條ヲ私共ハ加ヘタイノデアリマス、第二條、日本銀行ガ前條ノ特別融通ノ爲ニスル手形割引ノ歩合ハ割引最初ノ三月間ハ日本銀行國債保證手形割引歩合ト同一トシ以後ハ、其三箇月過ギテ後繼續シテ割引スル場合ハ日歩二錢二厘乃至二錢七厘トス、斯ウ云フ風ニ確定シテ置ク事ガ此法案ノ意義ヲ正シクスルモノト思フノデアリマス、斯ノ如キ案ヲ一箇年モ置クト云フ事ハ甚ダ宜シクナイト私共ハ考ヘル、併シ様ナ火急ノ場合デアリマスカラ、三箇月間ハ此國債保證手形ノ割引歩合ト云フコトニ致シマシテ、ソレカラ後、萬一必要ガアツテ融通ヲ受ケル者ハ、必ズ日歩二錢二厘

乃至二錢七厘ト云フコトニスルコトガ回收ヲ早クシ、サウシテ融通資金ヲ龐大ナラシムル虞ヲ防グコトニナルト考ヘタノデアリマス、ソレカラ其次ニ「日本銀行ハ前項ノ割引料ト公定割引料トノ差額ヲ國庫ニ納付スルヲ要ス」ト云フコトヲ加ヘタイト思フノデアリマス、日本銀行ガ斯ウ云フ場合ニ高利ヲ貸シテ、サウシテ日本銀行ノ取得トセズ、斯ノ如キ法案ニ依テ剩餘金ノ出タモノハ、之ヲ國庫ニ納付スルト云フコトハ當然ノコトデアラウト、私共ハ考ヘルノデアリマス、ソレカラ今茲ニ第二條ヲ加ヘマシタカラ、第二條第三條ト改メマス、サウシテ同條中「一年」トアルモノ、私共ハ之ヲ「三月」ト改メタイト思フノデアリマス、此問題ハ總委員會デモ述べラレマシタシ、政府ノ御意見モアリマスガ、之ヲ一箇年モ長ク置クト云フヤウナ例ハ、各國何レモ斯ウ云フ場合ノ恐慌ノ起タ時ノ例ヲ見マシテモ、甚ダ少イノデアリマス、我國ノ外國ニ對スル信用ヲ維持スル上ニ於キマシテモ、斯ノ如キモノヲ一箇年モ置クト云フコトハ、道理ガナイト私共ハ考ヘタノデアリマス、一ツソレレ順次條ガ變テ一條ヅツ延ビマシテ、政府案ハ八條デアリマスガ、私ノ修正案ニ依ルテ是ガ十條ニナルノデアリマス、是ハ御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ改正案ノ第四條、政府ノ法案デハ三條デアリマスガ、其三條ニ「十年」トアルモノ、私共ハ之ヲ「三年」ト改メタイト思フノデアリマス、大藏大臣ハ之ニ付テ種々御意見ガアリマシタ、併ナガラ斯ノ如キ融通金ヲ十箇年モ置カナケレバ、我國ノ經濟事情ハ是ガ緩和セヌデアリマセウカ、私共ハ決シテサウデハナイト思フ、此度ノ恐慌ナルモノハ、決シテ「ネーション」全體ノ恐慌デハナイ、或ル預金者ノ恐怖心カラ起タ所ノモノデアリマスカラ、政府ガ茲ニ之ヲ三年保障スルト云フコトニ依テ、必ズ是ハ安定スルモノデアルト確信スルノデアリマス、我ガ「ネーション」ノ經濟事情ガ鞏固ナルト云フコトハ、諸外國ガ認メテ居ル所ノ信用デアリマス、此信用ヲシテ十箇年モ

危惧ノ念ヲ持タシメルト云フコトハ、法律ノ精神ニ於テ甚ダ私ハ取ラヌ所デアルト思フノデアリマス、ソレカラ第五條ノ二項ニ斯ウ云フコトヲ加ヘタイノデアリマス、原案ノ四條デアリマスガ、原案ノ四條ニハ「前項ノ損失ヲ決定スル基準ハ大藏大臣之ヲ定ム」トアルモノ、私共ハ是ハ今日ノ大藏大臣ハ、曩ニ委員長モ御報告ニナッタ如ク虛心坦懷、洵ニ赤襟々ニ心情ヲ發表サレマシテ、サウシテ誠意ヲ披瀝サレテ居リマスカラ、私共ハ今日ノ大藏大臣ハ何等疑フ點ハアリマセヌガ、併シ政府ガ何時更ルカ分リマセヌカラ、如何ナル大藏大臣ガ出來ルカ分ラヌト云フコトヲ考ヘル時ニ、之ヲ大藏大臣ノ一任シテ置タコトハ危險デアルト考ヘルノデアリマス、故ニ私共ハ「前項ノ損失ヲ決定スル基準ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト改メタイト思フノデアリマス、ソレカラ後ハ同ジ事デアリマスガ、最後ノ九條デ政府案ハ終リマスガ、私共ハソレニモウ一條ヲ加ヘテ十條ト致シタイノデアリマス、十條ニドウ云フコトヲ書クカト申シマス「第一條ニ依リ資金ノ融通ヲ受ケタル銀行ノ役員ニシテ其ノ資金ノ目的以外ニ使用シタルトハ五年以下ノ懲役ニ處ス」斯ウ云フ法律ヲ定メテ置キタイト思フ、是ハ皆サングドウ御考ニナルカ知リマセヌガ、今日ノ放漫ナル貸出ヲシ、放漫ナル融通ヲシタ結果ガ、皆サンノ御存知ノ如ク今日ハ七億圓ト云フ大ナル金ヲ吾々ノ負擔ニ歸セナケレバナラス、國民ガ之ヲ捻出シナケレバナラスト云フヤウナ危險ニ遭遇シタノデアリマスカラ、今申シタ一箇條ヲ加ヘタイト思フノデアリマス、私ハ是ハ法理上何處カラ出タカド御尋ガアルナラバ申上ダマス、是ハ責任行爲ヲシタ者ハ、刑法二百四十七條ニ依テ定メラレテ居ル所デゴザイマスガ、當然此責任行爲ヲシタ時ノ罰則ハ置クベキモノデアルト云フコトヲ考ヘテ、銀行當事者ガ慎重ナル考ヲ以テ、多數ノ委任者、預金者及政府ノ命令ヲ大切ニスルガ爲ニハ、斯ノ如キ法文ガアルト云フコトハ、今日ニ於テ七億ノ負擔ヲ國民ニ課スル上カラ、ド

ウシテモ是位ノモノハ定メテ置クコトガ當然デアルト考ヘタ次第デアリマス（拍手）是ハ私共此日本銀行特別融通及損失補償法案ニ修正ヲ致シタイト思フタモノヲ述べタノデアリマス、其次ニハ臺灣ノ金融機關ニ對スル資金融通ニ關スル法律案デアリマス、之ニモ私共ハドウシテモ修正ヲ加ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、是モ前段ハ申上ダマセヌ、モウ既ニ議論ハ盡キテ居リマス、故ニ私ハ逐條ニ付テ私共ノ斯ク改メナケレバナラヌト思フ所ヲ簡單ニ申上ダマス、第一條中「金融機關ニ對シ」其下ニ預金支拂準備資金トシテ「ト云フコトヲ加ヘタイノデアリマス、是ハ原案ト違テ居ル所ハ、既ニ御存知ノ通りデアリマスガ、原案ノ第一條ニハ斯ウナッテ居ルノデアリマス「政府ハ臺灣統治ノ必要ニ應ジテ於ケル金融機關ヲシテ其ノ機能ヲ維持セシムル爲メハ海外ニ於ケル帝國ノ信用ヲ維持スル爲メ要アリト認ムルトキハ日本銀行ヲシテ臺灣ニ於ケル金融機關ニ對シ手形割引ノ方法ニ依リ二億圓ヲ限リ資金ノ融通ヲ爲サシムルコトヲ得」斯ウ書イテアルノデアリマス、併ナガラ私共ハ之ヲドウシテモ此外ニ、何ニ之ヲ使アカト云フ規定ノ無イコトハ、甚ダ遺憾トスルノデアリマス、大藏大臣モ度々御説明ニナッタ如ク、此二億圓ハ法ガ出來タメデ或ハ使ハナイデモ宜イカモ知レナイ、此法ガ出來テ臺灣ニ於ケル統治上、臺灣ニ於ケル預金者ガ悉ク安心スルナラバ、是ハ使ハナイデモ宜イカモ知レナイ、海外ノ信用ガ回復スルト云フコト、使ハナイデモ宜イカモ知レナイト云フコトヲ言明爲サデ居ルノデアリマス、故ニ此金ハ必ズ預金支拂ノ準備資金トシテマナケレバ使ハヌト云フコトヲ定メテ置クコトハ、當然ノ事デアラウト考ヘタルノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ第二條中「一年」トアルモノ、之ヲ三月ト私共ハ改メタイ、是ハ前ノ法案ト同ジ意味デアリマスカラ、説明ハ致シマセヌ、ソレカラ第三條中「二億圓」トアリマスガ、是ハ前ニ委員長ノ御報告ニナッタ如ク、一億圓ノ

支拂補償ヲシタモノヲ、全部支拂テ
シマフト云フ法案ハ、實ニ私共カラ見
テ、又將來此五十三議會ニ出タ此法案
ヲ國民ガ見マス時ニ、甚ダ不備ナル法案
デアルトノ念ヲ持ツト、私共ハ思フノデア
リマス、例ヘバ二億圓ノ保證ヲシテ、一億
圓拂タトカ、三億圓保證ヲシテ二億圓拂
タト云フコトデアルトナラバ、マダ理窟ガア
ルノデアリマス、ケレドモ二億圓ノ補償ヲ
シタモノヲ、二億圓償ハナケレバナラヌト
云フコトハ、甚ダ此法ノ手續上、又法ノ體
面カテ見テ、洵ニ宜シクナイト思フ、此
點ハ曩ニ據々申述ベマシタ委員長ト同意見
デアル、故ニ私ハ改メテ其金額ヲ減サウト
思フノデアリマス、其金額ハ「一億二千六
百六十萬圓」ニ減ジタイト思フノデアリマ
ス、之ニ付テ諸君ハ如何ナル起算ノ基礎ガ
アルカト御尋ニナルト思ヒマスガ、私ハ此
起算ノ基礎ハ、明ニ申上ゲテ置キタイト思
フ、臺灣銀行ガ島内ニ於ケル預金ガ、私共
ノ調ベタ所ニ依レバ三千三百萬圓、華南銀
行ノ預金ガ三百六十萬圓、而シテ其外ニ臺
灣島内ノ他ノ金融業者ノ預金ガ五千二百萬
圓、臺灣銀行ノ海外預金ガ二千八百萬圓、
海外債務ガ一千萬圓デアリマシテ、其合計
ガ一億二千六百六十萬圓ナルノデアリマ
ス、而シテ茲ニモウツアリマスノハ、私
ハ此紙幣發行ノ六千二百萬圓ヲ省キタイノ
デアリマス、如何トナレバ紙幣發行ヲ爲ス
斯ノ如キ銀行ガアリマス時ハ、是ハ銀行像
例ニ依リテモ、其發行ニハ相當保證ガアル
譯デアツテ、之ヲ此度全部六千何百萬圓
ヲ償フト云フヤウナコトハ、ドウモ理窟ガ
當然アル筈ハナイト思フ、故ニ之ヲ全部私
共ハ省キタイノデアリマス、ソレデ私共ノ
省キタイノハ、三十四銀行ガ預テ居リマ
スル三千三百七十萬圓モ省キタイノデアリマ
ス、ソレカラ勸業銀行ガ預テ居リマスル
百六十萬圓モ省キタイノデアリマス、斯ノ
如ク致シマスルト、實際ノ預金カラ考ヘル
ナラバ、一億二千六百六十萬圓ノ改メ
ルコトハ、數字ノ上カラ穩健ナル改善デ
アツテ、之ヲ大藏大臣ノ御説明通りナラ

要ラヌノカモ知レナイガ、若シ要タ場合
ニハ、是ダケノモノヲ支拂スルト云フコト
ハ當然デアル、サウシテ此法律ノ意義ガ正
シクナルト考ヘル次第デアリマス、ソレカ
ラ第四條中「是ハ四條中ニ「五條」トアル
ノハ、先ノ法案ヲ一條宛殖シマシタカラ
「六條」ニ改メルノデアリマス、又第五條中
「第三條、第四條第二項及第六條乃至第八
條」ヲ第四條、第五條第二項及第七條乃至
第九條」ニ改メ、是ハ當然ノ先ニ改メマ
シタ結果デアリマス、而シテ同ク此臺灣ニ
對シマスル法案ニモ、私ハモウ一條ヲ加ヘ
テ、第六條ニ同ジ文句ヲ入レタイト思フ
デアリマス「第一條ニ依リ資金ノ融通ヲ受
ケタル金融機關當事者ニシテ其ノ資金ノ目
的以外ニ之ヲ使用シタルトキハ五年以下ノ
懲役ニ處ス」ト云フコトハ、先ニ申上ゲマ
シタ理窟同ジコトデ、其當事者ガ其職責
ヲ完ウセンガ爲ニ、又責任ヲ深ク感ズルガ
爲ニ、斯ノ如ク改正ヲスルト云フコトハ、
私ハ當然ナコトデアルト思フ、先ニ私ガ二
億圓ヲ一億二千六百六十萬圓ニ切下ゲタコ
トニ付キマシテハ、皆サンハ之ヲサウ云フ
必要ハナイデハナイカト御考ニナルカモ知
ラヌガ、最近英國ニ於ケル例ヲ御覽ニナレ
バ分リマス、彼ノ英獨戰爭ノ當時、英國ノ
政府ガ丁度今日ノ我が政府ガ爲サルガ如キ
方針ヲ採テ、其當時英國政府ガ實行シタ
ル唯、數字タケラ申上ゲテ置キマスガ、英
國ハ之ニ對シテ其預金者ノ債權トナル銀行
ニ對スル債權額ノ二割ヲ保障シタノデアリ
マス、其二割ヲ保障シタ金額ハ二十二億五
千萬圓トナテ居ルノデアリマス、而シテ
英國國家ガ其間ニ支拂出シマシタノハ、タ
タ一億三千萬圓デ済シタ、即チ今日政府ガ
御執リニナタト同ジ趣意デ、政府ガ責任
ヲ持ツト云フ爲ニ、英國ニ於ケル金融界ガ
非常ニ安定ヲ致シテ、政府ガ二十二億五千
萬圓マデ保障シタモノガ、一億三千萬圓デ
済シタト云フコトカラ考ヘマシレバ、大藏
大臣ガ屢、此度「一億圓ヲ保障シテモ、是
ガ全部要ラヌ」デハナイカト仰セラレタコ
トガ證明サレルモノデアルト思フ、斯ノ如

キ結果デアリマスカラ、私ハ第三條ノ二億
圓ヲ一億二千六百六十萬圓ト改正シタ次第
デアリマス、此事ニ付キマシテハ、我ガ實
業同志會ニ於テ三晝夜ノ間苦心致シマシ
タ、而シテ此案ヲ提出スルニ付テ種々ナル
努力ヲ拂タノデ、其理由ヲ委シク申述ベ
タイノデアリマスガ、時間ヲ取ルベキコト
ヲ恐レマスカラ、ドウカ私共ノ修正ノ眞意
ノ在ル所ヲ御諒察サツテ、皆様ガ御賛成
アラシコトヲ切ニ願フテ止マナイノデアリ
マス(拍手)
○議長(森田茂君) 是ヨリ討論ニ入リマ
ス、通告順ニ依テ其發言ヲ許シマス、川
崎克君
〔川崎克君登壇〕
○川崎克君 今回御提出ニナリマシタ日本
銀行特別融通及損失補償法案、臺灣金融機
關ニ對スル資金融通ニ關スル法律案、此兩
案ヲ審議致スニ當リマシテ、私共此案ヲ提
出シナケレバナラナイ事情ニ至リマシタコ
トヲ、國家ノ爲ニ悲シム者デアリマス、大體
今回ノ財界動亂ノ近因ハ、臺灣銀行ノ休業
ニ在リタト云フコトハ、何人モ否定スベカ
ラザル事實デアリマス、臺灣銀行ノ休業ガ
何ガ爲ニ起リタカト云フコトハ、五十二議
會ノ閉會後、臺灣銀行ノ「コール」ノ取付ガ
起リマシテ、本年ノ四月九日マデノ間ニ、
議會閉會後約一億二千數百萬圓ノ引出ガ行
ハレタノデアリマス、尙ホ臺灣銀行ハ二億
圓ノ「コール」ノ取付ヲ受クベキ筋合デアリ
マシタ爲ニ、此危險ヲ如何ニ豫防スベキカ
ト云フコトガ問題トナッタノデアリマス、
此危險ヲ如何ニシテ防グベキカ、脚上ニ
起リテ居ル波ヲ如何ニ排スルカト云フコト
ガ、重大ナ問題デアリマシテ、之ヲ排セン
ガ爲ニハ、緊急勅令ヲ以テ臺灣銀行ヲ救濟
スルニアラザレバ、若シ臺灣銀行ニシテ一
朝破綻ノ運命ニ瀕スルナラバ、臺灣銀行ノ
背後ニ在ル所ノ關係アル四十有餘ノ銀行
ガ、悉クトハ申シマセヌガ、其影響ヲ被ラ
ザルヲ得ヌ、一波起リテ萬波之ニ仲フ結果
ハ、財界ニ非常ナ變動ヲ起スデアラウト云
フコトハ、當時想像ニ難カラザリシ事實デ

アリマス(拍手)是アルガ爲ニ當局者ハ豫知
シ得ベカリシ此危險ヲ避ケンガ爲ニ、緊急
勅令ヲ出シテ臺灣銀行ヲ一時救濟シテ、此火
ノ手ヲ止メテ置キサヘスレバ、アトデ起ル
所ノコトハ如何ナルコトガ起ルカモ知レマ
セヌガ、今脚上ニ起ル問題ヲ片付ケナケレバ
ナラヌト云フ關係カラ、其災厄ヲ避ケンガ
爲ニ、公共ノ安全ヲ維持セシムル爲ニ、緊
急勅令ニ依ルノ處分ヲ執ル外ハナイト云フ
コトガ、其當時ノ狀況デアッタノデアリマ
ス、然ルニ之ニ對シマシテ、樞密院諸公達
並ニ在野黨デアリシ政友會ノ幹部諸公ハ、
緊急勅令不可ナリ、臨時議會ヲ開カザルベ
カラズト云フ主張ニ立タレタノデアリマ
ス、此御議論ニ對シマシテハ、憲法上ノ解
釋トシテハ、各自議論ハアリマセウ、唯、
財政上ノ處分ノ見地ト致シマシテハ、當時
ノ事情ドウシテモ其途ヲ取ラナケレバ外ニ
途ハ無イ、果シテ財政上ノ處分ノ外ニ途ガ
アルカト云フナラバ、先ヅ第一ニ日本銀行
ヲシテ非常貸出ヲヤルト云フ途ガアリマセ
ウ、併ナガラ日本銀行ハ當時既ニ二億五千
萬圓ノ金ヲ臺灣銀行ニ出シテ居テ、普通
ノ擔保力デハソレ以上ノ貸出ハ困難デア
タ、若シ其以上ニヤルト云フコトデアレ
バ、今日ヤツテ居ルガ如キ非常貸出ヲヤル
ナラバ出來マセウケレドモ、ソレハ出來ナ
イ、ソレナラバ外ニ途ガアルカト云ヘバ剩
餘金ヲ以テスル、當時剩餘金ノ殘リハ千九
百九十萬圓ニ過ギナカッタノデアリマスガ
ラ、到底二億ノ火ヲ消スコトハ出來ナイ、
ソレナラバ外ニ途ガアルカト云ヘバ、是ハ
外ニ途ガアルナラバ、預金部ノ金デモ使フ
ヨリ仕方ガアリマセヌガ、預金部ハ御承知
ノ通り大正十四年度ニ償還確實ナル事業ニ
シテ公益ノ爲デナケレバ使ヘヌト云フコト
ニナツテ居リマスルカラ、一朝損ヲスル憂
ノアル所ノ臺灣銀行ニハ出シ得ナイ、サウ
スレバドウシテモ財政上當時ノ處分トシテ
ハ緊急勅令ニ依リテ此處分ヲ爲スヨリ外ニ、
避クベキ途ハナカッタノデアリマスニ拘ラ
ズ、之ヲ反對セラレタ爲ニ、今日ノ動亂ノ
大原因ヲ爲シタノデアル(拍手)之ニ對シマ

シテ委員會ニ於テハ、屢、田中總理大臣及大藏大臣等ト、此問題ニ付テ質問應答ヲ重ネマシタ所、極メテ卒直ニ御話ニナツタコトヲ、私共ハ非常ニ満足ヲ致スノデアアル、田中總理大臣ハ如何ニ言ハレタカト云ヘバ、先ヅ是ハ一體五十二議會ヲ終ラバカリノ事デアリ、左様ナ事ヲシテ緊急勅令ヲ出サナイデモ宜イダラウト思フテ居タ、斯様ニ仰シヤタ、出サナイデ宜イダラウト仰シヤタノハ三月二十五日以降ニ起タル財界ノ事情ヲ御究メニナラナカッタ爲デナイカト云フコトヲ申上ゲタ所ガ、ソレハ當時自分ハ責任ノ衝ニ居ナカッタカラト云フ御話デアタ、成程大藏當局トシテ或ハ内閣員トシテハ其責ニ居ラレナカッタデアリマセウケレドモ、公黨ノ總裁トシテ苟モ其責ニ居ラレドモ、政治家ハ朝ニ在ルト野ニ在ルトヲ問ハズ、其主張ト其政策ニ對シテハ、何レノ場合ト雖モ内外ノ責任ヲ負ハナケレバナラヌト云フコトハ當然デアアル(拍手)御調ベガ足ラナカッタ爲ニ、斯様ナ妄斷ヲ爲サレタノデアリナカッタ云フコトヲ私共ハ申上ゲタノデアアル、若シ御調ベガ足ラズシテヤツタナケレバ、故意デアルト謂ハナケレバナラヌガ、私共ハ故意デアルトマデハ申上ゲナイ、更ニ臨時議會ヲ召集シテ……

(發言スル者多シ)

○議長(森田茂君) 靜肅ニ願ヒマス

○川崎克君(續) 臨時議會ヲ召集シテ此問題ヲ解決スルコト云フコトニ御心配ニナルノナラバ、四月十八日カラ四月二十二日マデノ間ニ起テ所ノ財界ノ此動搖ハ、如何ニシテ避ケルカト云フ問題ガ起テ參ルノデアリマス、四月十七日カラ四月二十二日マデニ起タル所ノ此財界ノ大動搖ハ、田中總理大臣ノ仰シヤルヤウニ、臨時議會ヲ開クニ暇ガナイノデアアル、事實上時間ノ上ニ於テハ暇ガナイノデアアル、若シ臨時議會ヲ開カウトスレバモウ火ハ燃エテ來ルノデアアル、如何ニスルガ、此事ニ對シテハ總理大臣ハ昨日卒直ニ又斯様ニ仰セラレタノデアアル、斯様ナ場合ハ卒直ニ言ヘバ、先ヅ支拂

猶豫令デモヤツテ置イテ、サウシテ臨時議會ヲ開イタラ宜カッタと思ウタト仰シヤルノデアアル、私ハ實ニ亂暴ナル御言葉デアルト思フノデアリマス(拍手)臺灣銀行ノ取付ガアルカラト云テ、直ニ支拂猶豫令ガ出シ得ラレル狀況デアッタカ否カト云ヘバ、到底左様ナコトハ許サナカッタデアリマセウ、支拂猶豫令ヲ出ス所ノ危險ト損害ト、片一方ニ僅カニ億圓デ済ム損害ト兩者ヲ比較スレバ、何レガ重ク何レガ輕イカ明デアアル、現在支拂猶豫令ヲ實施シテ今日ニ至ルマデノ損害幾億圓ト稱セラレテ居リマスルカ、阪谷男爵ノ計算ニ依レバ二十億圓ト稱セラレテ居ル、二十億圓或ハ二十億圓以上上デテ居ルカモ知レマセウ、總テノ商工業ヲ一時中止ノ狀態ニ置クベキ所ノ此支拂猶豫令ヲ行ウテマデモ、尙且ツ吾々ガ主張シタル臺灣銀行救済ノ勅令案ヲ不可ナリト爲サルノデアアル、其輕重利害ヲ辨ヘザルモ甚シキ議論ナリト謂ハネバナラヌ、更ニ本案ノ立案ノ根本ニ付キマシテハ、私共甚ダ遺憾ノ點ガ多イノデアリマス、如何ナル點ニ於テ遺憾ノ點ガ多イカト申シマスレバ、此法案ノ生レテ居ルノハ財界ノ安定ノ爲デアアル、金融機關ノ軌路ヲ滑ニスルガ爲デアルト言ハル、ノデアリマス、之ヲ救済センガ爲ニ、安定セシメンガ爲ニ國民ノ負擔ヲ七億圓要求シテ居ルノデアリマス、銀行業者預金者ハ此法案ノ外ニ何等カノ負擔ヲスルカト云ヘバ此法案ノ外ニ何等カノ負擔ヲ致サナイノデアアル、自分ノ家ガ燃エテ居ル、自分ノ家ガ燃エテ居ルナラバ、自分自ラ火ヲ消シテ、足ラザルヲ他人ニ仰グハ當然デアアルニモ拘ラズ、銀行業者預金者ハ手ヲ拱イテ、國民總テノ手デカラ盡シテ火ヲ消サナケレバナラヌト云フノハ、純理ノ上ニ於テ、相容レザル所ノ思想デアルト謂ハナケレバナラヌノデアアル、何トカシテハ方法ガ無カラウカト云フコトヲ御尋致シタ所ガ、之ニ對シ大藏大臣ハ、此點ニ付テハ自分モ考ヘテ居ルガ、方法ハムヅカシイデアリマセウ、成程方法ハムヅカシイデアリマセウ、ムヅカシイデアリマセウケレドモ、

休業銀行ニ之ヲ利用スルナラバ、直ニ出來マス、先ヅ減資減配ヲ行フ、預金者ハ自ラ預金ノ割合ヲ制限シテ來ル、而シテ自分ノ負擔ノ出來ルモノダケハ負擔シテ、國民ニ後ノ負擔ヲ仰グト云フ途モアルノデアリマラス、然ルニ、是等ノ方法ヲ取リ得ナイノミナラズ、第一今度ノ救済案ノ骨子トナツテ居リマスル金利ニ至リマシテハ、私共希望條件ノ中ニ述ベテ置キマシタ通り、ドウシテモ此金利ノ安イト云フコトハ甚ダ同意シ兼ルノデアアル、一體斯様ナ非常ナ場合ニ於ケル金ヲ借りルト云フ必要ノ起タ時ニハ、多少ノ高イ金利ヲ拂フテモ必要ガアルノデアリマス、英吉利アタリノ例ヲ調ベテ見マサルノニ、斯様ナ場合ニハ何時デモ高イ金利ヲ出シテ居ルノデアリマス、日本獨リ最低利子——國債ヲ擔保トスル最低利子デ以テ、一錢七厘ト云フヤウナ安イ利息デ貸スト云フヤウナコトヲスル例ハ、私共不敏ニシテ知ラナイノデアアル、是デモ錢ヲカ高クシテ國民ニ負擔ヲ間接ニデモ、直接ニデモ避ケ得ラレル途ヲ執ラレト云フコトハ、當局者トシテ本案ニ對スル最も深切ナル處置デアアルマイカト私ハ思ウテ居ルノデアリマス、此意味ニ於キマシテ先ヅ金利ヲ少シク高クスルト云フコトヲ主張シナケレバナラヌノデアアル、金利ガ安ケレバ回收力ガ鈍イト云フコトハ明デアリマス、安イ金利デ金ヲ借りテ、而モ不動產抵當デ金ヲ借りテ之ヲ固定スルノデアアル、大藏大臣ノ仰シヤル所ニ依ルナラバ、百二十億ノ預金中先ヅ百億ト見テ、後ノ五十億ハ貸出スモノト豫知セラレハ見マセウケレドモ、漸次五十億ハ出テ行クモノト見ナケレバナラヌノデアリマスガ、斯様ニ出テ行クナラバ、通貨ハ勢ヒ膨脹セザルヲ得マセウ、其膨脹シタ通貨ハ大藏大臣ノ言葉ニ依レバ、ソレハ溜メテ居ルダケデアアル、死藏シテ居ルダケデアアル、市場ニ現レナイカヲ膨脹ニナラヌト仰シヤルケレドモ、兌換ノ増發ニナルコトハ明デアリマス、兌換ノ睡眠狀態ト申シテ宜カラウカ、少クトモ睡

眠狀態ハ續クノデアアル、今日支拂猶豫令ヲヤツテ居ラヌモ、今日通貨ハ十六億デアアル、此十六億ノ收縮ハマダシナイノデアアル、若シ此支拂猶豫令ヲ明ケタナラバ、必ズ二十億以上ニナルト云フコトハ、是ハ明ニ見ラレル例デアアル、此通貨ガ膨脹シテ收縮力ヲ失フテ、所謂彈力性ヲ失フテ、通貨ノ效用ヲ失フ所ノ睡眠狀態ヲ來スト云フコトハ、經濟上最モ不健全ナル狀況ヲ誘致スベキモノナリト謂ハナケレバナラヌノデアリマス、兌換ノ増發ハ直ニ物價ノ騰貴ニナルトハ申シマセウケレドモ、必ズ物價ノ騰貴ヲ誘致致シマス、物價ノ騰貴ヲ誘致致シマスルナラバ、輸入ノ關係ハ漸次惡クナリマセウ、而シテ爲替ノ關係モ亦良クナイデアラウト思ヒマス、其國民ノ國際經濟ノ關係ハ惡クナリ、國民ノ負擔力ガ段々増加シテ參ルト云フ狀況ヲ呈スルノデアリマスカラシテ、斯様ナ狀況ハ避ケ得ラレバシカニシテ、斯様ナ見地ニ立テ、金利ハ最低利子ヨリモ高カルベシト云フ議論ヲ立テルノハ、此見地ニ立テテ唱ヘルノデアリマス(拍手)更ニ此日本銀行ノ特別融通法案及臺灣ノ金融機關ニ對スル資金融通ニ關スル此兩案ヲ見マサルト、成程多少目的モ違ヒマスカレドモ、兎ニ角財界安定ト云フコトヲ主眼トシテ打立テラレテ居ル、此兩案ガ餘リニ矛盾ヲ極メテ居ルコトニ驚キマス、先ヅ第一ニ日本銀行救済案ヲ見マスルト云フト、是ハ預金者救済デアルト云フ立前々ラ立案セラレテ居ルノデアアル、片一方ノ臺灣銀行ハドウ云フ立前々來テ居ルカト云ヘバ、是ハ金融機關ノ機能ヲ維持スルコト云フ立場ニ立テテ居ル、全ク其立前々違フノデアリマス、若シ日本銀行救済案ノ主眼トスル所ガ、預金者救済ト云フ立前デアアルナラバ、預金者ハ現在營業シテ居ル預金者モ、營業ヲ止メテ休業狀態ニアル所ノ預金者モ、共ニ救済スベキモノデアアル、兩者ノ間ニ差別待遇ヲ設ケルベキモノデアナイト云フノガ、吾々ノ議論ノ骨子デアリマス(拍手)此議論ニ對シマシテハ、大藏大臣ハ日本銀

行特別融通補償案ハ、現在休業狀態ニアル、即チ現ニ預金ノ拂戻ノ停止中ニアル所ノモ、ニ對シテハ這入ラナイノデアル、斯様ニ仰セラレタノデアリマスルガ、此事ハ昨日ノ委員會ニ於テ段々ニ論議ヲ重ネラレテ、此法文ヲ正面解釋ヲ致スナラバ、大藏大臣ノ御解釋ハ、ドウシテモ法律上ノ議論トシテハ當テ居ラナイ、日本銀行ハ銀行ヨリ其預金ノ支拂準備ニ充ツル爲ト云フコトニナリテ居リマスルガ、休業シテ居ル銀行ト雖モ法人格ヲ備ヘテ、破産ノ宣告ヲ受ケテ銀行ガ無クナリテ居ラナイ以上ハ、是ハ支拂準備ニ充ツルガ爲ニ、預金ノ充當ヲ爲スト云フコトノ働ヲ爲スコトハ當然デアリテ、此法文直接ノ解釋カラ言フタラドウシテモ此銀行ハ休業銀行ヲ含マズト云フヤウナ議論或ハ立法者ノ解釋ハ、一體全體ノ法文ノ解釋ノ原則論ノ上カラ許スベキ事デハナイノデアリマスルカラシテ、之ニ對シテハ委員會ニ於テ申上ガタ如ク、現ニ預金ノ拂戻ノ停止中ニアラザル」ト云フ文字ヲ加ヘテ、所謂休業銀行ヲ含マズト云フ意味ヲ明ニシマシテ、サウシテ最後ニ於テ休業中ノ銀行、即チ現ニ預金ノ拂戻ヲ停止中ノ銀行デアリテモ、將來營業ノ繼續ノ見込アルモノニ付テハ、即チ之ヲ救済スル、補償スルコト云フコトノ意義ヲ明ニ致シタノデアリマス、第二ニ此臺灣ノ金融機關ノ問題デアリマス、臺灣ノ金融機關トハ、如何ナルモノヲ指スノデアルカト言ヘバ、第一臺灣銀行、第二ハ臺灣ニ支店ヲ有シテ居ル所ノ諸銀行、第三ハ信用組合ト云フコトヲ言ハレタノデアル、金融機關ノ中ニハ、臺灣ニハ明ニ信用組合マデ包含セラレテ居テ、日本内地ノ方ハ信用組合ヲ除外サレテ居ルコト云フコトハ、ドウシテモ矛盾シタ立法ノ精神デ、吾等理解出來ナカッタノデアル、最後マデ此事ハ諒解出來ナイデ済シマッタコトヲ、私共ハ遺憾トスルノデアリマスガ、斯様ナ事ニナリテ居ルノデアリマス、言葉巧ニ臺灣銀行、統治上臺灣ニ於ケル金融機關、其機能ヲ維持スルコト云フコトヲ仰シヤルケレドモ、是ハ主トシテ臺灣銀行救済デ

アル、臺灣銀行救済ト云フコトヲ表面カラ名乗リマスレバ、前ニ臺灣銀行ノ救済ニ反對シタ立場ガアルモノデアルカラ、頭隠シテ尻隠サナイ所ノ弊ニ陥リテ居ルノデアル(拍手) 明ニ臺灣銀行救済デアリテ、其臺灣銀行救済デアルト云フコトハ、後述申述ブル數字ニ依リテ明ニナルノデアアル、又此日本銀行ノ方ハ金ハ貸スケレドモ、貸出ハ致スケレドモ、或ハ五十億モ出スケレドモ、其補償ヲスルノハ五億圓ニ限ル、國民トシテ負擔ヲスルノハ五億圓ニ限ル、然ルニ臺灣銀行ノ分ニ至リテハ、是ハ無擔保貸付デアリマシテ、貸出スダケガ損失ニナルノデアアル、全部ガ損失ヲ初メカラ豫期シテ居ルノデアアル、是ハ實ニ亂暴ナル貸付、此亂暴ナル貸付ハ何ヲ狙フテ居ルカト言ヘバ、臺灣銀行ヲ狙ハズニ、是ハ起リマセヌ、即チ臺灣銀行ヲ救済スルト言ヘバ、反對ヲ受ケ、又前ニ反對致シタ立場カラ、之ヲ態、御避ケニナルノデアリマセウケレドモ、事實ハ臺灣銀行ノ救済デアアル、而シテ「コール」ハ別デアルト仰シヤル、財界ノ大變動ヲ起シタ第一ノ導火線ハ何デアッタカ、地雷ハ何デアッタカ、「コール」デアッタ、其一番危ナイ「コール」ヲソツチ除ケニシテ置イテ、定期預金ノ方ヲ返シテ行クト云フヤウナ案、ソレ自身自ラウ偽テ居ル案ト言ハナケレバナラスノデアアル(拍手)モウ少シ正直ニ仰セラレタ方ガ私ハ宜イト思フ、先程黨野君ノ計算ニ依リマスルコト云フ、臺灣銀行救済タケハ一億二千六百萬圓モアレバ足ルト云フコトデアリマス、私共ノ計算デモ、矢張此數字ト餘リ違ハナイ數字ガ出テ來ルノデアアル、此細カイ數字ハ豫算委員會ニ於テ數字ヲ擧ゲテ御尋致シタノデアリマスケレドモ、此御尋ニ對シテ二重ノ貸付ニナルノデアリマシタコト云フコトヲ申シタノニ對シテ、大藏大臣ノ御答辯ガ明瞭ヲ缺イテ居タ、是ハアナンコトヲシテモ、臺灣ノ本店ヲ先少生カシテ置イテ、之ヲ助ケテ置イテ、サウシテ助ケタ餘力ヲ以テ、支店ニ在ル所ノ「コール」ヲ一部拂ツテ置クト云フコトハ、小川君ノ昨日ノ御質問ニ對シテ

モ、頭隠シテ尻ヲ隠サナイ所ノ本案ハ明瞭ニ其事實ヲ告白シタモノト云ウテ不可ナラヌト思フノデアリマス(拍手)左様ニナリテ居リマスルガ、更ニ私共希望條件トシテ申述ベマシタ中ニ、此產業組合ニ對シマスル所ノ組合員外ノ貯金ニ對シマスル貸付ノ方法ニ付テ希望條件ヲ述タノデアリマスルガ、之ニ對シテハ先程岡田君カラ委員長ニ御質問モアリマシタカラ、此際私カラ趣意ヲ明カニシテ置キタイト思ヒマス、一體此產業組合ハ御承知ノ通り相互組織ノモノデアリマシテ、組合員ハ相互ノ間ニ成立テ居ルト云フコトハ、是ハモウ明カナコトデアリテ、銀行トハ其點ニ付テハ性質ヲ異ニ致シテ居リマス、唯、產業組合中ニ於キマシテ、此組合員外ノ預金ヲ預カテ居ルモノガアルノデアリマス、即チ組合員ノ家族ノモノデナク、又組合員ノ公共團體ノモノデナク、單ニ組合員外ノ預金、此預金ハ幾ラアルカト言ヒマス、約一千三百萬圓程アルノデアリマス、此一千三百萬圓程アル此預金ハ、是ハ貯蓄銀行法ニ依リマシテ四分一ノ供託ヲ致シテ居ルノデアリマス、同時ニ普通ノ信用組合ト違ヒマシテ、是ハ無限責任デアリマス(發言スル者アリ)終リ迄御聽キナサイ、無限責任デアリマス、即チ其機能ニ於テハ庶民銀行ノ働キヲ爲シテ居ルモノデアアル、此庶民銀行ノ働キヲ爲シテ居ル所ノモノガ取付ヲ受ケル、取付ヲ受ケタ所ノ事實モアリマスガ、ソナンコトハ今申上タル必要ハナイ、明ニ事實ガアル、神戶ニ於テ、大阪ニ於テ、東京ニ於テ其事實ガアル、更ニ今度若シ之ニ對シテ何等ノ處置ヲ執ラナカッタ時ハ、財界ノ不安ヲ除クコトヲ目途トシテ居ル所ノ此法律ノ精神ヲ滅却スルノデアアル、財界ノ不安ヲ除クニハ、先少金融機關ヲ整理スルト云フ趣意カラ行キマス云フコト、臺灣ニ於テハ、組合員ニ對シテ金ヲ出シテ居ルノデアルカラ、ドウシテモ此金ヲ出スコトガ合理的デアルト思フノデアアルガ、之ニ對シテハ大藏大臣ハ中央金庫トシテ金ハ出ルト云フ、成程中央金庫ハ出シマス、出シマスケレドモ中央金

庫ハ擔保ノ問題ニ付テハ不動産貸付ハ致サナイ、信用組合ハ不動産ハ澤山持ッテ居ルケレドモ、ソレヲ抵當ニシテ金ヲ借ル譯ニ行キマセヌ、此法律精神カラ行ケバ、不動産ノ見返擔保貸付シテ貰ヘルノデアアル、此法律カラ除外サレルト云フコトハ、組合員ニ取ッテハ甚ダ遺憾デアアルカラ、此中ニ入レタイケレドモ、法律ヲ修正シナケレバナラヌカラ、訓令カ何カデ以テ之ヲ助ケル途ヲ造リタイト云フノガ、即チ私共希望條件ヲ附シタ所ノ理由デアリマス、以上ノ理由ニ依リマシテ、私ハ本案ヲ修正スレバ、先程カラ申上ダタ通り、其根本ニ於テ修正ヲシナケレバナラス、中ニハ矛盾擲著ヲ極メタ事モ多數アルノデアリテ、之ヲ短期間ノ間ニ修正シ、之ヲ直スト云フコトハ、容易ナ事デナイノデアリマスルガ、先程申上ダタ修正ノ上ニ、四箇ノ希望條件ヲ附シマシテ、本案ニ賛成ヲ致ス所以デアリマス(拍手)

○議長(森田茂君) 秦豊助君

○秦豊助君 簡單デアリマスカラ、此席カラ

○議長(森田茂君) 登壇ヲ願ヒマス

○秦豊助君登壇

○秦豊助君 我國ノ未曾有ノ金融界ノ動搖、洵ニ憂フベキモノガアッタノデアリマス、然ルニ田中内閣組織以來、直ニ支拂猶豫令ヲ執行致シマシテ、暫ク人心ノ鎮靜ヲ得タノデアリマス、而シテ茲ニ臨時議會ガ開カレマシテ、日本銀行特別融通及損失補償法並ニ臺灣ニ於ケル金融機關ニ對スル特別融通法案ガ提出セラレマシタ、之ヲ見ルニ此日本銀行ノ特別融通ニ付キマシテハ、從來取引ヲ致シテ居ル所ノモノ以外ノ總テノ銀行、又從來認メテ居ル所ノ證券以外ノ證券、其他不動産、又財團ヲ擔保トスル所ノ債權、サウ云フヤウナモノニマデモ、此見返品ノ範圍ヲ擴大致シマシテ、サウシテ其ノ超過額ノ國債ニ付テハ時價一割、又地方債、社債ニ付テハ九割半、株券ニ付テハ九割ト云フヤウナ從來ニ見ザル所ノ特別ノ融通ヲスルト云フコトニ致シテ居ル、而シ

ハ、帝國議會ノ開會中デアリマスルガ故ニ
茲ニ緊急勅令案トナッテ樞密院ニ整備致シ
タノデアアル、然ルニ樞密院ノ諸公ガ、古キ
憲法ノ解釋論——憲法ノ古キ解釋論又ハ敵
本主義ノ反對論ニ依リマシテ、茲ニ又國民ニ
對シテ、五億ノ負擔ヲ重荷シナケレバナラ
ナイコトニ相成ツタノデアアル、是ハ此二法案
ノ上ニ現レマシタ數字デアリマスルガ、七
億ト云フ數字ハ、此法案ノ上ニ現レマシタ
數字デアリマスガ此七億ノ外ニ國民ノ被
タル損害ハ舉ゲテ數フルベカラザル所ノモ
ノガアルノデアアル

〔發言スル者多シ〕

○議長(森田茂君) 靜肅ニ願ヒマス
○中村啓次郎君(續) 上ハ新帝陛下ノ御宸
襟ヲ惱シ奉リ、下ハ現在ニ於ケル國民ヲ禍
シ、將來ニ於ケル國民ニ大ナル負擔ヲ歸ス
ルニ至リマスタル者ノ責任ヲ問フベキコト
ハ、必ズ國民ノ糾彈ニ俟ツベキコトヲ信ジ
テ疑ハナイノデアリマス、併ナガラ今日ハ
國民ノ糾彈ヲ代テ私共ガ致シマスル時機
デハナイノデアアル、國民ノ糾彈ハ必ズ或ル
時機ニ於テ行ハル、コトヲ信ズルノデア
アル、併シ今日ハ責任ヲ問フノ時ニアラズシ
テ、此目前ニ横テ居リマスル經濟界ノ一
日モ早ク安定シナケレバナラナイト云フコ
トヲ攻究スル時デアアルノデアリマスルガ故
ニ、私共ハ此責任ヲ問フコトヲ敢テ致サナ
イノデアリマス專ラ此經濟界ヲ安定スルコ
トニ對シテ、攻究ヲ進メテ參ツテ居ルノデ
アリマス、私共ハ此法案ヲ受取リマシテ之
ヲ審議致シマスノニ、此法律ノ形式ニ於キ
マシテモ、内容ニ於キマシテモ、隨分研究ヲ
重ネタイ點ハ澤山アルノデアリマス、併ナ
ガラ今や經濟界ノ動亂ハ焦眉ノ急デアリマ
ス、故ニ澤山ノ時間ヲ持チマセヌカウ、少
クトモ此法文ノ上ニ餘リニ不明ニ過ギル點
ダケヲ茲ニ明ニ致シ、即チ第一條ノ「日本
銀行ハ銀行ヨリ其ノ預金」云々、銀行ト云
フ中ニハ休業銀行モ含ムコトハ明デアリマ
ス、併ナガラ政府ハ此中ニハ休業銀行ヲ含
マナイト云フガ故ニ、此點ヲ明ニ致シマシ
テ、現ニ預金拂戻シ停止中ニアラザルト云

極メテ速ニ本法案ヲ議決セラル、コト、私ハ考ヘルノデアリマス、斯ク致シマスルト最早本會議ハ再ビ開カレズシテ、休憩ノ儘流會スルノデハナイカト私ハ思フノデアリマス、若シ斯ノ如クナル爲ニ——或ハ斯ノ如クナランコトヲ私ハ恐ル、ガ爲ニ、茲ニ御疲勞ノ後デハアリマスケレドモ僅ニ一時間ノ時間ヲ皆様ガ御貸シ下サイマスルナラバ、私共ノ提出致シテ居リマスル財界ノ動搖ニ最モ關係ノアル所ノ臺灣銀行ノ不始末ヲ調査スル所ノ査問會ヲ設置スル議案、及ビ休業銀行ヲ救済スル爲ニ大藏大臣ニ向ッテ希望ヲ表スル所ノ決議案ハ、皆サシノ御討議ヲ願フコトガ出來ルノデアリマス、不幸ニシテ若シ皆サンガ茲ニ休憩セラレマシタナラバ、私ハ必ズヤ定數ヲ缺イテ再ビ本會議ハ開カレルコトガナクシテ、私共ノ提出シテ居ル此二法案ハ葬リ去ラレルコト、ナリハセヌカト憂ヘルノデアリマス、私共ノ提出シテ居リマスル所ノ此二法案ナルモノ、實ニ重大ナルコトヲ皆様ガ御考ヘ下サイマシタナラバ、私共ガ議會ニ於テ少數デアアルガ爲ニ、此議場ニ於テ諸君ガ動搖論議スラセズニ、此最モ大切ナル財界動搖ニ關係アル所ノ此二法案ヲ葬リ去ラレルガ如キ卑怯ナル態度ヲ御執リニナラヌデアラウト私ハ信ズルノデアリマス（拍手）諸君私共ノ提出致シマスル所ノ第一ノ法案ハ、臺灣銀行ノ不始末ニ付テ其責任ノ所在ヲ明ニセンガ爲ニ、査問會ヲ開カントスル所ノ決議案デアリマス（拍手）諸君、僅ニ百万圓ノ商船ヲ沈没セシメテモ、其船長及乗組員ハ査問セラル、ノデアリマス（拍手）而シテ其處ニ何人ガ責任ヲ執ルカト云フコトヲ公ニセラル、ノデアリマス、今ヤ數億圓ノ國民ニ損害ヲ與ヘマスル所ノ臺灣銀行ノ不始末ヲ査問セズシテ、其責任ノ所在ヲ明ニセズシテ、諸君ハ選舉區ニ歸ッテ何ト有權者ノ前ニ述ベラレルカ諸君ハ今ヤ幾億圓ノ損害ヲ諸君ノ有權者及全國國民ニ負擔セシムル所ノ法案ニ賛成セラレタノデアリマス（拍手）シテ見マスレバ一方ニ於テ、何人ガ斯ノ如キ國民ニ損害ヲ與ヘルニ至ッタカト云フコト

トノ其責任者ヲ明ニスル此查問會ヲ設クル所ノ吾々ノ決議案ヲ、此議場ニ於テ論議スルコトスラ避ケントセラレルガ如キコトニ付テハ、私ハ斷然反對致シマス(ヒヤ)「拍手」殊ニ私共ノ提出シテ居リマス所ノ休業銀行ノ整理救済ノ議案ハ、私共ハ東西ノ大銀行ガ苟モ銀行團ヲ拵ヘテ、預金利子マデ協定シテ居リナガラ、今日ノ如キ場合ニ斯ノ如キ國民ニ負擔ヲ破ラシムルナラバ、宜シク東西ノ大銀行ハ自ラ犧牲ヲ拂ッテ、日本銀行ト相共ニ相當ノ一大整理銀行ヲ設置シテ、休業シテ居ル特ノ銀行ヲ救フヤウニ、大藏大臣カラ懇談セラレタイト云フ議案デアリマス(拍手)斯ノ如キ重要ナル二大決議案ガ諸君ノ御手許ニ廻ッテ居ルニモ拘ラズ、今ヤ諸君ハ休憩ノ動議ニ賛成セラレマシタ、遂ニ定數ヲ缺イテ本會議ガ再ビ開カレナカタヤウナコトガアリマシタナラバ、諸君ハ此最モ大切ナル場合ニ於テ、此財界ノ最モ必要ナル議案ヲ審議スルコトヲ避ケラレタ者デアルト云フ國民ノ非難ヲ私ハ避ケルコトガ出來ナイデアラウト思フノデアリマス(拍手)故ニ私ハ此井本常作君カラ御提出ニナリマシタ所ノ休憩ノ動議ニハ、此際反對致シマス、僅ニ諸君ガ一時間ノ時間ヲ御耐忍ニナレバ、此二法案ハ審議サレルノデアリマス、願ハクバ休憩ヲ一時間御延シナッテ、此二法案ヲ此議場ニ於テ、審議セラレムコトヲ私ハ偏ニ御願ヲ致シマス(拍手)

○議長(森田茂君) 井本君ノ休憩動議ニ反對ガアリマシタ、仍テ採決致シマス、井本君ノ休憩動議ニ賛成ノ御方ノ起立ヲ願ヒマス

〔贊成者起立〕

○議長(森田茂君) 多數ト認メマス、仍テ休憩致シマス

午後六時二十六分休憩

午後十時三十六分開議

○議長(森田茂君) 休憩前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス、只今内閣總理大臣ヨリ議長宛ノ通牒ヲ受領致シマシタ、即チ之ヲ朗讀致シマス

通牒

本月九日貴族院ニ於テ帝國議會開院式執行被仰出候

此段御報告申上ゲマス(拍手)而シテ本日ハ御承知ノ通り非常ニ時刻モ切迫致シマシタカラ、他ニ若干ノ議案モアリマスクレドモ、此儘デ終了スルコトニ致シマス(武藤山治君「議長々々」ト呼ブ)此際議長ニ於テ一言御挨拶申上ゲマス、諸君、第五十三回帝國議會ハ本日ヲ以テ終了致シマシタ、御承知ノ通り今期議會ハ臨時議會デアリマシテ、會期僅ニ五日ニ過ギマセナシタガ、財界安定ニ關スル重要法案提出セラレ、本會議委員會共連日開會シテ頗ル多忙ヲ極メマシタガ、慎重審議ノ上之ヲ議了致シマシタコトハ國家ノ爲ニ洵ニ慶賀ニ堪ヘナイ次第デゴザイマス(拍手)是レ諸君御勵精ノ結果デアリマス、茲ニ諸君連日ノ御勞劬ヲ謝シマス、是ニテ散會致シマス

〔拍手起ル〕

午後十時三十八分散會

〔參照〕

本會議ニ於ケル議案ノ總數及結果
承諾ヲ求ムル議案 一件、承諾ヲ與フ政府提出法律案 二件、可決

上奏案 一件、可決
建議案 五件、未決

決議案 一件、可決
重要動議 二件、未決

請願 一件、可決
六件、本會議ニ上ラス

特別報告アリタルモノ 四件
特種報告アリタルモノ 一件

審査未了ノモノ 一件
緊急質問 十件

口頭ニテ答辯アリタルモノ 九件
撤回シタルモノ 一件

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲
茲ニ掲載ス〕

一 今八日日本銀行特別融通及損失補償法案

外一件委員佐藤實君橋本喜造君辭任ニ付其ノ補缺トシテ中原德太郎君奥村千藏君執レモ議長ニ於テ選定セリ

一 今八日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

日本銀行特別融通及損失補償法案
臺灣ノ金融機關ニ對スル資金融通ニ關スル法律案

一 今八日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ議案ニ對シ承諾スルコトヲ議決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ
昭和二年勅令第九十六號

衆議院議事速記第三號中正誤

頁段 行 誤 正
四二二 五 見タイ 貫ヒタイ